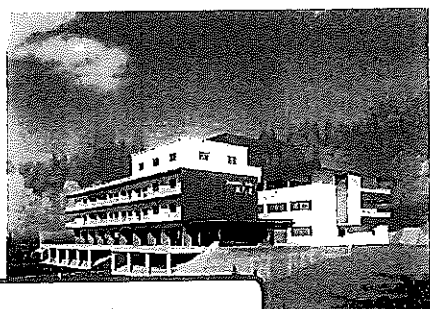


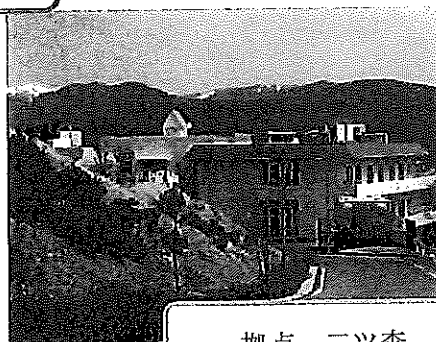
# 平成 29 年 度 告 白 事 業 報 告 社会福祉法人五常会 本部



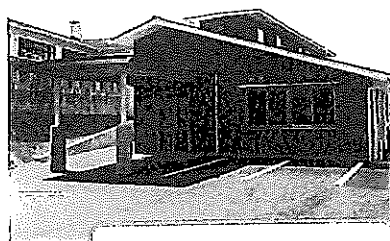
拠点 みずなみ瀬戸の里



拠点 瀬戸の里



拠点 二ツ森



拠点 清和寮

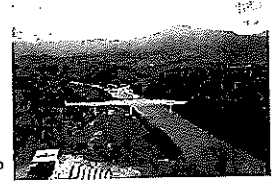


拠点 福岡ダイ



## 平成 29 年度 社会福祉法人五常会・本部事業報告書

年間を通し、定款に記載された人間愛、尊厳をもとに施設福祉・在宅福祉の拠点として利用者満足度の高い事業展開ができる法人をめざした。



## 理事会・評議員会の開催と出席者状況

	開催日・開催状況	理事会 定数 6	評議員会 定数 7	監事 定数 2	欠席者
1	平成 29 年 5 月 26 日	5 名		2 名	理事 1 名 監事なし
2	平成 29 年 6 月 16 日	(3 名)	7 名	2 名	評議員なし 監事なし
3	平成 29 年 6 月 22 日	6 名		2 名	理事なし 監事なし
4	平成 29 年 8 月 24 日	6 名		2 名	理事なし 監事なし
5	平成 29 年 10 月 26 日	6 名		2 名	理事なし 監事なし
6	平成 30 年 3 月 23 日	6 名		2 名	理事なし 監事なし
全会出席者による議決で、書面又は電磁的方法による議決権の行使等は無					

## 監事監査

4	平成 29 年 5 月 12 日	2 名	平成 28 年度決算・事業内容・活動状況等監査
---	------------------	-----	-------------------------

## 法人経営会議

	開催日	参加者	主要議題
4	平成 29 年 7 月 21 日		増改築・瀬戸収益対策・法人制度改革概要
4	平成 29 年 8 月 25 日		業況報告・採用活動・増改築・収益対策
4	平成 29 年 9 月 22 日		増築資金確保 収益確保 二ツ森増床問題
4	平成 29 年 11 月 24 日		増築資金確保 収益確保 二ツ森増床問題
1	平成 29 年 12 月 26 日		社福制度改革 研修報告 会計月次平準化
2	平成 30 年 1 月 26 日		本部拠点独立 制度改革進捗状況 理事会議案
4	平成 30 年 2 月 23 日		事業計画 人材確保 報奨金制度 ガバナンス

## 事務戦略会議

毎月	月初定例	1 2 回	吉村社会保険労務士 施設長 事務部長
----	------	-------	--------------------

## 会計指導

隔月実施	名南経営事務所・事務局長・事務長等
	経理規程変更 拠点区分・伝票全数点検 施設整備処理 決算支援

内部監査（監事+監査部長）

## 事第三者委員会

平成 30 年 1 月 18 日	第三者委員 3 名 苦情解決責任者
------------------	-------------------

## 平成 29 年度特記事項 ガバナンスの強化 透明性の確保 福祉人材確保

規程の整備  (当該年度に 制定・改正を 実施した規程 ・年度中複数改訂 の場合は直近)	平成 29 年 6 月 16 日	役員等に関する報酬等の規程
	平成 29 年 6 月 22 日	内部管理体制の基本方針に関する規定の制定
	平成 29 年 6 月 22 日	管理規程 (昭和 59 年 4 月施行) の廃止
	平成 29 年 6 月 22 日	定款細則 (平成 27 年 11 月改訂) の廃止
	平成 29 年 8 月 26 日	組織及び役員等の職務権限等に関する規程
	平成 29 年 10 月 26 日	監事監査規程 制定
	平成 29 年 2 月 7 日	評議員選任・解任運営委員会運営細則 制定
	平成 30 年 3 月 23 日	特別養護老人ホーム瀬戸の里運営規程
	平成 30 年 3 月 23 日	養護老人ホーム清和寮運営規程の改訂
	平成 30 年 3 月 23 日	資格取得に関する研修等受講料貸付事業実施規程制定
	平成 30 年 3 月 23 日	給与規程 改訂
	平成 30 年 3 月 23 日	経理規程 改訂

執行役員の 選任	平成 29 年 6 月 22 日~	理事長 土屋大二郎 第 3 回理事会執行報告
	平成 31 年 6 月まで	業務執行理事 向晃良 第 3 回理事会執行報告

指導監査 ・検査等	平成 29 年 4 月 6 日	県高齢福祉課 開設前補助金検査
	平成 29 年 6 月 7 日	県高齢福祉課 新築棟完成に伴う監査
	平成 29 年 6 月 30 日	恵那労基書 臨検
	平成 29 年 7 月 14 日	県政策課 指導監査
	平成 29 年 7 月 19 日	中津川市高齢支援課監査
	平成 29 年 9 月 19 日	県恵那事務所 清和寮指導監査
	平成 29 年 10 月 6 日	県恵那事務所 ニツ森指導監査
	平成 29 年 10 月 12 日	県恵那事務所 瀬戸の里指導監査
	平成 30 年 2 月 2 日	Sii (共創イニシアティブ) ZEB 監査
	平成 29 年 4 月 6 日	県高齢福祉課 開設前補助金 (備品等) 検査

人材育成	平成 29 年 11 月 27 日	岐阜県人材育成宣言 G2 認定
	平成 29 年 8 月 31 日	岐阜県労働局 はつらつ職場宣言
		EPA 介護福祉士候補生 平成 29 年度 1 名 (瀬戸 1・みずなみ瀬戸 0)

## 平成 30 年 4 月 1 日役員及び評議員一覧(29.06.16 選任)



理事 (6 名)	高橋明範 土屋大二郎 内木良治 西尾國明 水野敬生 向 晃良 (任期平成 29 年 6 月 16 日~平成 31 年 6 月定時評議員会迄 )
監事 (2 名)	梶田幸一 知久隆雄 (任期 同上)

評議員 (7名)	市岡惣二、 小島由城経	井畑耕三、 常田順子	小栗正敏 山本亮	柏原美之
----------	----------------	---------------	-------------	------

事務局長	向 晃良	法人事務	糸井川朋大	大脇啓子
------	------	------	-------	------

## 重要な人事

養護老人ホーム中津川市 清和寮施設長	就任	土屋大二郎	退任	今井恭次	平成 29 年 10 月
特別養護老人ホーム瀬戸 の里施設長	就任	向 晃良	顧問 就任	山本久子	平成 29 年 10 月

## 社会福祉充実残高

① 事業活動支出計	② 次期繰越金	③ 積立金	① - ② - ③	社会福祉充実計画
1,197,813,579	729,574,765	36,000,000	△432,238,814	△の為作成不要

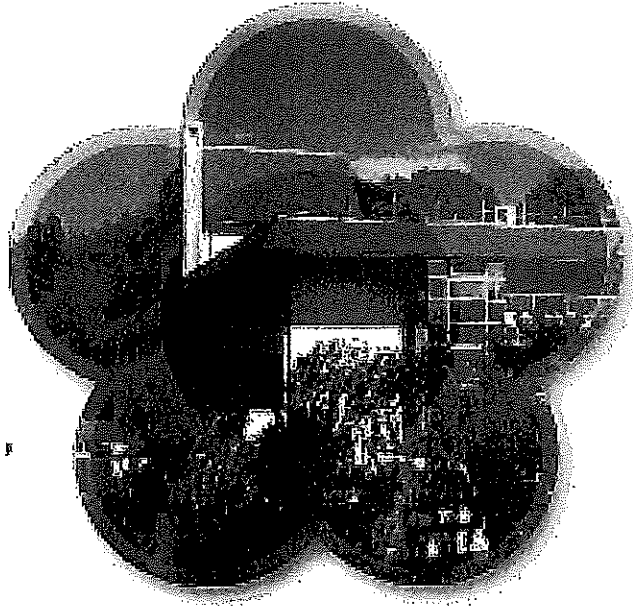
## 瀬戸の里増改築関係入札【本部支援 28 年度・29 年度】

項目	入札日	落札業者	社数	落札金額
瀬戸の里増改築工事	28.07.15	辞退 3 社 不参加 1 社	3	不調
瀬戸の里進入路 (分離)	28.07.29	吉川工務店	4	62,640,000
瀬戸の里増改築工事	28.08.17	吉川工務店	2	954,720,000
瀬戸の里新棟 ベッド 15 台	29.03.10	トーカイ	3	3,520,584
瀬戸の里新棟 入浴装置	29.03.10	恵那医科	4	9,180,000
瀬戸の里新棟 食洗器温台車	29.03.15	ホシザキトーカイ	4	3,877,200
瀬戸の里新棟 電化製品	見積合せ	ナカデン	2	1,897,780
瀬戸の里新棟 地域密着整備	29.10.06	吉川工務店	4	62,208,000
瀬戸の里新棟 食洗器温台車	29.11.06	ホシザキトーカイ	4	10,500,000

## 平29年度本部事業計画に対する達成基準チェックリスト

理事会・評議員会・監事監査開催	A	予定会議・議案承認・役員・評議員選出は達成
良質なサービスの提供	B	現状維持で新たな取組が見られない。CS対応
社会福祉法人改革への対応	A	所轄庁が提示するスケジュール・項目を達成
ガバナンスの強化	C	職務分掌・職務権限・権限委譲の明確な基準が示されていないので整備必要
法人理念の見直しと徹底	B	理念制定 徹底
収支状況の改善	C	各拠点とも加算取得・稼働率への意識向上 瀬戸の里収支改善取組開始。
人材確保	D	各拠点とも人員不足が常態化【介護・看護等】 EPA目標達成・新規・中途採用困窮
人材育成	C	介護福祉士等資格取得の基準が上がり座学が 必須など研修参加が困難な状況・県G2申請
EPAによる研修生の受入	C	予定どおり4名を候補生として受入
施設整備特養瀬戸の里	A	瀬戸の里2月28日引渡 3月23日竣工式
二ツ森施設整備検討	A	増床見送・短期一部特養に転換検討で進行(5床)
地域包括ケア体制の確立	C	人的要因で包括支援センター等対応できず 居宅、地域密着に移行の通所も低調
リスクマネジメント	A	潜在的人的・資金的リスク等はあるが、当該年度 大きな介護事故、感染症蔓延、苦情等は無
コンプライアンス	B	法令遵守・ホームページ等での情報公開について 実施

# 平成 29 年度 事業 報 告



特別養護老人ホーム瀬戸の里

瀬戸の里デイサービスセンター

瀬戸の里在宅介護支援センター (居宅)

瀬戸の里在宅介護支援センター

西在宅介護支援センター





## 特別養護老人ホーム瀬戸の里 事業報告

瀬戸の里建物工事については、当初計画より2か月遅延しましたが、平成29年5月末新棟が完成となりました。改築工事も平成30年2月末に無事終了し、3月23日には竣工式を遂行することができました。

工事の関係では、利用者の皆様には騒音、埃などの環境面だけでなく、度重なる居室、行事の変更などがありご迷惑をかけることが多々ありました。このような中でも、安全に配慮する必要性から、地域の協力を得て夜間防災訓練を行い、どのような緊急時にも対応できる状況としました。防災については、構内環境・防災機器も全面的に変わりましたので継続して訓練等を実施していきます。

入所申込みの対応については外部の人にも参加いただき入所判定会議を開催し、緊急性・公平性に配慮する体制を確保すると同時に、迅速な入所ができるよう心掛けてきました。

職員の資質向上については、県老協、東濃支部等の研修に参加をし、個人のスキルアップを図っています。又施設内においても、「感染症」「褥瘡」「身体拘束」「防災」「医療的ケア」等研修会や勉強会、その他各委員会を適宜開催し、多職種で取り組んできました。

感染症対策については一年を通し館内消毒などの対策を継続しています。冬季に約二か月間、予防のために面会規制するなど、利用者様・ご家族様に協力要請をし、感染症の発生はなく安全に過ごす事が出来ました。

課題の職員採用に関しては、年間を通じ看護師については、補充することができたが、介護福祉士・介護士、特に夜勤業務等可能な職員が確保できず、増床への課題ともなっている。現在退職者や育休明けの職員等の復職で繋いでいるが厳しい状況が継続しています。

対応としては、ハローワークをはじめ、学校求人・地元広報誌の求人広告・知人紹介・EPAなどを実施しているが十分な成果が得られていない状況が継続しています。

介護保険サービスの加算要件を満たすこと、介護保険外サービスの充実等、人員不足の中でのサービス向上と収入の安定のため努力してきました。これらについては、家族の皆様の了解を得て速やかに変更することができました。

入居状況

区分		男	女	合計
入居者数		8	69	77
年間	入所	2	25	27
	退所	4	22	26

	男	女
最高年齢	89	106
最小年齢	68	78
平均年齢	79	90
	89.5	

入退所状況

													(人)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		3	4	4	0	2	3	1	3	3	1	1	2	27
内訳	在宅								1	1			1	3
	病院								1				1	2
	老健他	3	4	4		2	3	1	1	2	1	1		22
退所者		1	5	1	0	4	1	4	3	1	2	2	2	26
内訳	死亡	1	4	1		4	1	4	2		2	2	2	23
	入院		1						1	1				3
	家庭復帰													0
	その他													0

利用状況

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	365	3016	3126	12280	9125	27912
今年度	315	2067	3260	12657	9785	28084

(延べ人数)

平均要介護度 4.0

稼働率

96.17%

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
1	3	2	9	23	11	22	6

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
17	40	15	3	17	26	17	15	1	77

事故報告状況

転倒・ざり落ち	誤薬	誤食	徘徊（施設外）	裂傷	合計	保険適用件数
2	4	0	0	1	7	0

苦情相談件数

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	1	0

身体拘束状況

4本柵対応	ミトン使用	つなぎ寝巻き着用	安全ベルト使用
0	0	1	0

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活 相談員	介護支 援専門 員	介護職 員	看護職 員	栄養士	機能訓 練指導 員	事務員	調理員	その他	合計
常勤(A)	1		2	1	26	3	2		3	4	1	43
非常勤(B)		1			6	2	1	1		3		14
非常勤の 常勤換算(C)					3	1	0.5	0		1		5.5
(A)+(C)	1	0	2	1	29	4	2.5	0	3	5	1	48.5

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	0 人	正看護師	2 人
介護福祉士	20 人	准看護師	3 人
介護支援専門員	4 人		

短期入所（ショートステイ）事業年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													0
支援2													0
介護1													0
介護2	5	4											9
介護3													0
介護4	13	10	13	11									47
介護5	3	14	7	1									25
合計	21	28	20	12	0	0	0	0	0	0	0	0	81

会議・委員会の開催	
職員会議	毎月1回開催 各セクションから出席 ケアの統一や職場内の統制を図る
リーダー会議	毎月1回開催 介護職リーダー6名 ケアの方向性や共有を図る
身体拘束廃止委員会	2か月に1回開催(各セクションから出席) 入所者の尊厳に配慮したケアを検討
褥瘡予防対策委員会	2か月に1回開催(各セクションから出席) 外部のPTの講師による指導も有る
地震・防災対策委員会	2か月に1回開催(各セクションから出席) 昼夜の避難訓練も複数回実施
感染症対策委員会	2か月に1回開催(各セクションから出席) 外部の講師による指導も有る
リスクマネジメント勉強会	事故報告・ヒヤリハット等の統計から検証 事例検討等
感染症予防勉強会	年に2回以上開催 外部での研修の発表等 多数の職員の参加による実践的勉強会
褥瘡予防勉強会	年に2回以上開催 外部での研修の発表等 多数の職員の 参加による実践的勉強会
医療的ケア連携	介護職の喀痰吸引の現地指導、医療行為等などの研修
入所判定委員会	2か月に1回程度開催 外部の方を交えて、必要度・緊急性などを判断
担当者会議	月に3回程度実施 入所者の担当者を決め、個別ケアに向け ての会議を開催
拠点会議	毎月1回 定例
安全衛生委員会	拠点会議終了後開催

瀬戸の里デイサービスセンター

平成 29 年度

事業報告書

# 事業概況

平成29年には中津川市内のデイサービス増加も緩やかになり、新規利用者獲得の競争も落ち着いてきました。立て続けに通所介護事業所の単価が下がったことにより、閉鎖するデイサービスも出てきました。

当苑は平成27年に地域密着型のデイサービスに変更しました。基本報酬単価が一番高く、小規模の中で最も定員が多い18名にしたことで他事業所より有利に運営できる状況になりました。その差が2年経過した今、じわじわと効果を表しています。

通所介護は新聞配達と似ています。田舎では1人迎えに行くのに30分かかることがあり、3人迎えに行けば1時間かかってしまいます。一方都会では、5分もかからず行けるマンションで10人乗せることができます。そういったところが、短時間で大勢の利用者さんを集め、大規模で運営して売上げを伸ばしている。それがデイサービスの単価を引き下げる大きな原因となっています。

不平等な環境であっても同じ制度が適用されることで、田舎にある事業所は大きな被害を被っているのが現状です。

改正の度に通所介護の単価は下がり、施設を運営する社会福祉法人でもなければ、デイサービス単体での経営では非常に厳しい時代がやってきました。また、併設のデイサービスでも赤字が大きければ、地域貢献よりも閉鎖を考えなければならなくなってきています。

これまでは、どんどん利用者を増やせば、ただ稼働率を上げていけば、加算や体制といった面倒な変更をしなくても何とかなっていました。しかし、今は違います。

介護保険制度を早い段階で理解し、新しい形に合わせて事業所の形態を素早く変化させていける事業所でなければ、いくら稼働率を上げててもマイナスになってしまうということです。

今後はデイサービス単体の事業所がますます減少していきます。稼げない分野に新規事業所は参入してきません。しかしニーズは減少しません。これまでの改正に対応した変化を繰り返してきた五常会の4つのデイサービスは、全て生き残れる可能性があります。

特に中津川市内でも事業所枠が限定されている地域密着型通所介護事業所である瀬戸の里デイ・ゆうわ苑デイ・ニツ森デイは存続させていかなければなりません。多くの事業所が単価の高いその限定された枠を狙っています。

我々は引続き、存続できるデイサービスとして制度の変化に対応し、こぼれ始めている地域のニーズに応えなければなりません。今回何とか稼働率が回復したことで次年度の稼働率上昇は約束されています。

## 平成29年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500149	定員(A)	平成27年12月より18名に変更	予防有				
事業所名	瀬戸の里デイサービスセンター	3月利用実人員	44人					
運営時間	8時30分～17時30分	稼働日	月～土(年末年始を除く)					
報酬単価 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～9h単価	16,470	33,770	7,350	8,680	10,060	11,440	12,810
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算 (I)	720	1440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	介護職員処遇改善加算 (I)	688	1,408	339	392	448	503	558
	※1...昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
利用料日額合計	17,878	36,618	9,539	10,922	12,358	13,793	15,218	

※1.要支援の昼食・間食は720円に利用回数を加味した金額を加えてありません 「認知症加算160単位は個別加算のため記載してありません

	平成29年度実績	平成28年度実績	前年比較
稼働日数	309日	310日	-1
平均年齢	85.9歳	86.5歳	-0.60
男女別人員	男1352人 女2067人	男975人 女2650人	—
平均介護度	2.5	2.5	0.0
要支援Ⅰ	19人	6人	13
要支援Ⅱ	49人	104人	-55
要支援合計	68人	110人	-42
要介護Ⅰ	998人	1,020人	-22
要介護Ⅱ	876人	1,074人	-198
要介護Ⅲ	203人	399人	-196
要介護Ⅳ	890人	597人	293
要介護Ⅴ	393人	425人	-32
要介護合計	3,360人	3,515人	-155
年間総合計	3,428人	3,625人	-197
年間総定員	5,562人	5,580人	-18
稼働率	61.63%	64.96%	
計画数	3,710人	4,860人	-1,150
達成率	92.40%	74.59%	

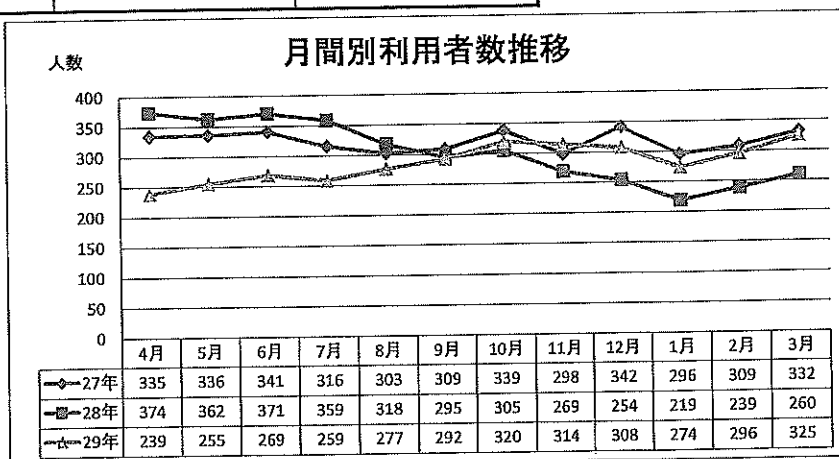
苦情	
29年度	28年度
0	0

第三者委員まで  
報告を要した件数

事故	
29年度	28年度
1	1

保険を適用件数

職員等の状況		
兼務の場合は主職種		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	3	
介護士	2	4
看護員(機能訓練)		1
支援		



# 平成29年度年間行事報告

月	行事名	内容【各一週間】	
4	いちご狩り	坂本めぐりーんにて旬の味覚を堪能	4/10-15 24名
	花見	本町公園や四つ目川など桜の名所ドライブを楽しむ	4/1-27 78名
	手作りおやつ	春野菜のお好み焼き	4/17-19 32名
	お花見弁当	城山桜公園へお花見弁当を持って宴会しよう	4/4-6 26名
5	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	5/8-13 26名
	ツツジドライブ	夜明けの森でドライブ パラ園見学	5/17-31 76名
	端午の節句	五月人形 鯉のぼり作り 折り紙工作	5/1-6 41名
6	涼ドライブ	馬籠で涼もう	6/1-3 32名
	交流会	ゆうわ苑でボランティアによる演奏会	6/21 8名
	喫茶外出	コメダにてデザートを食べよう	6/5-9 27名
	野外活動	いつもと違った少し遠出のドライブ 飯田かぶちやん村	6/18 15名+4名
7	七夕祭り	笹の葉に短冊を、七夕飾りを作る	7/1-7 47名
	涼ドライブ	夜明けの森・夕森	7/10-15 40名
	美術展	中津川駅前にぎわいプラザ	7/29 1名
	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	7/24-27 31名
8	流し素麺週間	季節感ある昼食を楽しむ	8/22-24 30名
	浴衣試着会	浴衣と盆踊りで夏祭り気分	8/14-16 21名
	喫茶外出	近隣の喫茶店へ出掛けよう！暑い季節、かき氷など味わい・・・ コメダ	8/7-10 23名
9	ドライブ	蕎麦の花	9/22-23 43名
	防災講座	市の出張出前講座で防災意識を高めて防災訓練を実施	9/20-21 14名
	ぶどう狩り	午後、落合ぶどう園にて秋の味覚を堪能。	9/1-9 27名
10	五平餅大会	新米を使つての五平餅会。炭火焼きで香りも楽しむ+焼き芋	10/2-4 35名
	紅葉ドライブ	夜明けの森(もみじ葉風)・夕森公園	10/5-31 55名
	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	10/7-12 30名
11	映画上映会	大きなスクリーンで映画を見ながら苑内喫茶	11/1-7 44名
	防災教室	市の出前講座・パッククッキング(ビニール袋)・消防署見学	11/20-30 28名
	紅葉ドライブ	紅葉の名所ドライブ。紅葉を愛でながらのお茶会・ぎんなん拾い	11/6-13 42名
12	忘年会	利用者間の交流、一年間の感謝をこめて演芸披露	12/10 15名+5名
	買い物外出	年末準備のお買い物ツアー	12/4-7 34名
	鍋会食	鍋を作って皆で囲む	12/18-21 28名
	門松・しめ縄	自分で門松・締め縄を作って自宅に飾ろう	12/1-23 45名
1	新年会	初釜…着物でお抹茶サービス・懐かしい正月遊びに興じます	1/11-24 33名
	初詣	近くの神社、仏閣に参拝し、一年間の安全祈願を！・十日市見学	1/4-10 25名
2	節分	鬼退治ゲームで身体を動かそう	2/3 10名
	出前講座	ヤクルト・腸の話・健康体操	2/13 13名
	苗木作品展	苗木交流センターに一年間の工作进行を展示しよう	2/24-25 全員
	貼り絵工作	千支・犬の貼り絵	2/5-8 40名
3	桃の節句	季節行事・雛飾り作り	3/1 12名
	花見ドライブ	桜・花桃・ツツジ・芝桜	5/17-31 42名
	買い物外出	近隣のショッピングセンターへ買い物ツアー	3/5-22 36名

※尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供行いました

瀬戸の里デイサービスセンター



平成 29 年度

事業報告書

瀬戸の里在宅介護支援センター  
居宅介護支援事業所

平成29年度 実績報告

H30/3/31 現在

1 介護支援専門員の状況

介護支援 専門員数	2 人	内 訳	常 勤	専従	1 人	非常勤	専従	0 人
				兼務	1 人		兼務	0 人

2 給付管理の状況

提供月	給付管理件数 (A)	支援専門員数 (B)	平均件数 (A)÷(B)
4月	67	3	22
5月	63	3	21
6月	64	2	32
7月	63	2	31
8月	65	2	32
9月	65	2	32
10月	63	2	31
11月	64	2	32
12月	66	2	33
1月	65	2	32
2月	64	2	32
3月	65	2	32
合計	771	26	361

(小数点以下切り捨てて記載)

担当者別 件数	担当	原	垣内	伊藤(ま)		合計
	年間件数	408	357	6		771
	新規件数	7	8	0		15

(\*新規件数=ケアプランの依頼を受けたうち、初回に給付管理を行った場合 + 介護度が2段階以上変化し、初回加算を算定した場合)

終了件数	入所等	1	死亡	14人	変更	5人	合計	20人
------	-----	---	----	-----	----	----	----	-----

(変更=居宅支援事業所変更 : 予防給付への移行 及び 高齢者専用住宅等入居に伴う居宅支援事業所の変更含む)

・前年度との比較

	給付管理月取り扱い件数	新規件数	終了件数	6月よりケアマネー一人減にて 心気を取る事が難しく取扱い 件数を増やす事ができません でした。
28年度	83件	17件	37件	
29年度	64件	15件	20件	
差	-19件	-2件	-17件	

〈介護度別利用者数の割合〉

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護 3~5の割合
37 %	29 %	11 %	17 %	6 %	34 %

(小数点以下四捨五入して記載)

### 3 居宅介護支援費の請求状況

居宅介護支援費(Ⅰ)を算定 (取り扱い件数40未満)	要介護 1・2	10,420単位/月
	要介護 3・4・5	13,530単位/月

提供月	介護度別件数		支援費	介護度別件数			支援費	支援費合計
	介護1	介護2		介護3	介護4	介護5		
4月	25	25	521,000	6	9	2	230,010	751,010
5月	24	21	468,900	6	10	2	243,540	712,440
6月	23	21	458,480	6	12	2	270,600	729,080
7月	23	18	427,220	7	12	3	297,660	724,880
8月	24	19	448,060	5	11	3	257,070	705,130
9月	26	20	479,320	5	11	3	257,070	736,390
10月	25	19	458,480	7	10	2	257,070	715,550
11月	25	21	479,320	7	9	2	243,540	722,860
12月	25	21	479,320	8	9	3	270,600	749,920
1月	24	21	468,900	7	10	3	270,600	739,500
2月	24	18	437,640	7	12	3	297,660	735,300
3月	24	19	448,060	7	11	4	297,660	745,720
合計	292	243	5,574,700	78	126	32	3,193,080	8,767,780

### 4 加算・減算の適用について (加算の状況)

加算項目 (1単位 100円)	件数	加算額
特定事業所加算Ⅱ(300単位)	0	基準を満たさない為、加算は扱って いません。 0
初回加算(初回または2段階変更)(300単位)	15	45,000
入院時情報連携加算Ⅰ(200単位)	5	10,000
入院時情報連携加算Ⅱ(100単位)	2	2,000
退院・退所加算(300単位)	7	21,000
緊急時居宅カンファレンス加算(200単位)	0	0
小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	0	0
加算額合計		78,000

## (減算の状況)

運営基準減算の適用	減算の適用 なし
-----------	----------

## 運営基準減算が適用される場合

居宅介護支援の業務が適切に行われない場合、所定単位数×0.5を算定  
運営基準減算が2ヶ月以上継続している場合は所定単位数を算定しない

特定事業所集中減算の適用	減算の適用 なし
--------------	----------

## 特定事業所集中減算が適用される場合

対象期間中に〔訪問介護・通所介護・福祉用具貸与〕において、正当な理由なく特定の法人へのサービス計画が80%を超えた場合、減算適用期間の居宅介護支援費の全てについて200単位/月を減算

前期判定期間〔3月1日～8月末日〕 ⇒ 減算適用期間〔10月1日～3月31日〕

後期判定期間〔9月1日～2月末日〕 ⇒ 減算適用期間〔4月1日～9月30日〕

\*注 平成27年の介護報酬改定に伴い、居宅介護支援の公平・中立性を更に推進するため、平成27年9月以降の特定事業所集中減算の要件が変更となりました。

## ●訪問介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)株式会社ニチイ学館		(事業所)ニチイケアセンター中津川・ニチイケアセンターみの坂本	
前期	93	71	79.3%
(法人名)株式会社ニチイ学館		(事業所)ニチイケアセンター中津川・ニチイケアセンターみの坂本	
後期	95	71	74.7%

## ・訪問入浴介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)アサヒサンクーン株式会社		(事業所)アサヒサンクーン在宅介護センター中津川	
前期	11	9	81.8%
(法人名)アサヒサンクーン株式会社		(事業所)アサヒサンクーン在宅介護センター中津川	
後期	14	8	57.1%

## ・訪問看護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)一般財団法人中津川訪問看護ステーション		(事業所)一般財団法人中津川訪問看護ステーション	
前期	47	17	36.1%
(法人名)一般財団法人中津川訪問看護ステーション		(事業所)一般財団法人中津川訪問看護ステーション	
後期	36	16	44.4%

## ・訪問リハビリテーションにおいて、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)医療法人社団 日新会		(事業所)訪問看護ステーション城山	
前期	9	6	66.6%
(法人名)恵那医院		(事業所)恵那医院リハビリケアセンター訪問リハビリテーション	
後期	11	6	54.5%

## ●通所介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 社会福祉法人 care Bank 株式会社		(事業所) デイサービスふくろうの杜・らじよわ 中津川	
前期	81	25	66.6%
(法人名) 社会福祉法人 敬和会倶楽部		(事業所) デイサービスふくろうの杜・ふくろうの杜北館	
後期	66	28	42.4%

## ●通所リハビリテーションにおいて、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 医療法人社団 日新会		(事業所) 介護老人保健施設 城山	
前期	81	40	49.3%
(法人名) 医療法人社団 日新会		(事業所) 介護老人保健施設 城山	
後期	74	47	63.5%

## ●短期入所介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) Care Bank 株式会社		(事業所) ら・じよわ中津川	
前期	68	31	45.5%
(法人名) Care Bank 株式会社		(事業所) ら・じよわ中津川	
後期	65	40	61.5%

## ●短期入所療養介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 医療法人社団 日新会		(事業所) 介護老人保健施設 城山	
前期	12	12	100.0%
(法人名) 医療法人社団 日新会		(事業所) 介護老人保健施設 城山	
後期	17	16	94.1%

## ●福祉用具貸与において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 株式会社 トーカイ		(事業所) 株式会社トーカイ 中津川営業所	
前期	230	162	70.4%
(法人名) 株式会社 トーカイ		(事業所) 株式会社トーカイ 中津川営業所	
後期	224	166	74.1%

## ●地域密着型通所介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 社会福祉法人 五常会		(事業所) 瀬戸の里デイサービス・ゆうわ苑デイサービス	
前期	202	145	71.7%
(法人名) 社会福祉法人 五常会		(事業所) 瀬戸の里デイサービス・ゆうわ苑デイサービス	
後期	197	157	79.6%

## ●認知症対応型通所介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた 居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけ られた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 有限会社 ナチュラルケア中津川		(事業所) デイサービス恵寿	
前期	15	15	100.0%
(法人名) 有限会社 ナチュラルケア中津川		(事業所) デイサービス恵寿	
後期	12	12	100.0%

平成29年度 研修・会議

・計画に基づき研修に参加 ( )内参加者氏名

月	内 容
H29/4月	12日 地域ケア会議(垣内) 14日 H30年度介護保険報酬読み書き研修 (垣内、原) 13, 18, 27日ケアマネ実習生受け入れ
5月	9日 見える事例検討会(垣内) 13日 居宅春季研修会(垣内 原)
6月	
7月	6～7日 介護サービス質の向上研修(原) 11日 見える事例検討会(垣内 原) 13日 高齢者虐待防止研修(垣内 原)
8月	18日中津川恵那市地域福祉連絡会「事件は現場でおきている」(垣内 原) 24日 介護施設におけるリスクマネジメント(原) 25日介護支援専門員事務講座(垣内)
9月	12日 見える事例検討会(垣内 原) 21日高齢者虐待防止研修(垣内 原)
10月	1日 介護保険シンポジウム(垣内) 27日 認知症講演会(垣内 原) 28日 秋季研修会(垣内 原)
11月	14日 見える事例検討会(垣内 原) 16日 第1回多職種合同研修会(垣内 原)
12月	4日 高齢者虐待研修(垣内 原) 19～20日 23～24主任ケアマネ更新研修(原)
H28/1月	10日、17～18日主任ケアマネ更新研修(原) 16日H29年度介護保険適正化研修(垣内)
2月	3日 主任ケママネ更新研修(原) 5日 高次脳機能障害研修(垣内、原) 19日 第2回多職種合同研修(垣内 原)
3月	9～10日 主任ケママネフォローアップ研修(垣内) 9日中津川・恵那地域福祉連絡会「感情的な言葉による指導にはついていけない！」( ) 16日 H29年度岐阜県介護保険集団指導研修 (原)
定例会議	毎週火曜日 支援センター伝達会議 毎月 第1金曜日主任ケアマネ連絡会 毎月第3火曜日 支援センター全体会議 毎月第2火曜日 五常会拠点会議

平成 29 年度

事業報告

瀬戸の里在宅介護支援センター

## 平成 29 年度事業報告

## ◎相談方法の実績数について

## 訪問相談

当在宅介護支援センターが訪問対象者としているのは 65 歳以上の独居高齢者と、高齢世帯では主に後期高齢者（75 歳以上）を対象として訪問しています。それ以外（精神・身障）の相談にも行政の専門職と連携を図り、訪問依頼があれば対応してきました。認知症及び困難ケースも増加しており一人の方に関わる回数も多くありました。

## 来所相談

当在宅介護支援センターは立地条件が悪く、窓口に来ていただくにも車が必要であるため相談者の方の直接の来所の件数は少なく、電話連絡後訪問する件数が殆どの状況です。

## 電話相談

電話での相談は前年度より減少していますが、訪問する事で対応した結果になっています。相談内容の中には困り事だけではなく制度、介護用品及び CM からの情報提供依頼、入院先からの相談等多方面からの相談問い合わせがありました。在宅介護支援センターの役割も広がって来ていると痛感しており、今後も在宅介護支援センターの存在を啓蒙し、電話一本でも安心して相談ができる体制作りをして行きたいと思っています。

※相談件数の中には、担当地区外（市内）からの相談もありました。

## ◎相談内容について

## 困難事例の内容

- ・経済的に問題がありサービスに繋がられないケース
  - ・独居で認知症を抱えている方のケース
  - ・虐待が疑われるケース
  - ・家族全員が精神科を受診しているケース
  - ・サービスに繋がっていても担当 CM と一緒に関わりながら見守るケース
- 等

## ◎認知症家族の会について

この会は H19 から開催しており当初は年に 1 回の開催でしたが参加者も多くなり、H21 から年 4 回の開催にしました。今年度は新規の参加者はなく変化はありませんでしたが、現在認知症の方も一緒に参加されています。交流会だけではなく、ストレス解消になるような楽しみも計画して行ってきました。参加者からはこの会で胸の内を全て話せる事で、この一時がとても大事との声もありました。認知症に関する相談も年々増加の意図を込めており、気軽に参加できるように心掛けました。

※参加者延べ人数 22 名



### ◎出前講座について

今年度も地域から出前講座の依頼をいただき、地域住民の介護予防に対する意識も高まって来ているようです。前年度と比較すると今年度の依頼は少なく、当センターが地域に出向き介護予防教室を実施した事もその一つと思われます。毎年定期的に依頼がある地域もあり、講座の内容も考慮し対応しました。

### ◎介護予防事業について

#### <独居の会>

一人暮らしである事によって外出の機会が少ない方、閉じこもりになるリスクが高い方等孤独化を防ぐために H25 度から隔月で予防事業を始めましたが、回数を増やしてほしいと言う意見が多く、H26 度から毎月の開催を行うようになりました。参加者のうち介護保険に繋がった方や毎週開催しているあんきなくらぶ事業に繋がった方もみえました。参加者の主体性を生かした内容になるよう参加者で年間計画を立てて事業を勧めました。送迎及び対応にスタッフ一人では困難であるため西在宅介護支援センタースタッフの協力を得て実施しました。

※参加者実人数 10名 延べ人数 95名

#### <地域出向型介護予防教室>

前年度に続き今年度も地域を選定し3地域での開催を計画しました。地域によっては参加人数が少なく介護予防の意識の低さが感じられ、今後の課題として捉えていく必要がある事を痛感しました。

※参加者実人数 50名 延べ人数 109名

#### <認知症予防講演会>

今年度の開催はなく次年度は検討して行きたいと思っています。

## 瀬戸の里 在宅介護支援センター

平成 29 年度

月	事業報告
4月	・第1回三郷区介護予防教室・地域ケア会議・生活支援体制整備事業協議体会議
5月	・ふれあいサロン出前講座（桃山区）・日比野区介護予防教室・清流木曾川中津川マラソン大会打ち合わせ・第1回井汲区介護予防教室・桃山区出前講座・マラソン大会参加・第1回認知症初期集中支援チーム会議・介護予防教室
6月	・水晶の会（認知症家族の会） ・民生委員制度100周年記念講演会・津戸区ふれあいサロン・下並松区出前講座・西在宅介護支援センター相談協力員懇話会・新谷区出前講座 ・瀬戸の里在宅介護支援センター相談協力員懇話会・第1回介護予防従事者研修会
7月	・地域包括支援センター運営協議会・第1回高齢者虐待予防研修会 ・第2回三郷区介護予防教室
8月	・苗木支部社協打ち合わせ・第2回介護予防従事者研修・認知症サポーター養成講座・第2回日比野区介護予防教室 ・第7期高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定作業部会
9月	・水晶の会（認知症家族の会）・第3回介護予防従事者研修・在支、ケアマネとの交流会 老人クラブ定例会・本町区出前講座・岐阜県介護予防活動普及展開事業市町村伝達研修 ・第2回高齢者虐待防止研修会・津戸区出前講座・第2回高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定作業部会
10月	・地域支え合いマップ研修会・認知症サポーター養成講座PR活動・背戸川区出前講座 ・認知症講演会
11月	・健康福祉まつり準備・福祉まつり・第3回三郷区介護予防教室・元気アップ教室見学 ・第2回日比野区介護予防教室・桃山区出前講座・第2回井汲区介護予防教室・桃山区出前講座 ・認知症サポーター養成講座・第3回第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定作業部会
12月	・水晶の会（認知症家族の会）・第3回高齢者虐待防止研修会
1月	・八幡区出前講座
2月	・高次機能障害研修会・介護予防研修会見学・大牧区出前講座・第4回三郷区介護予防教室 ・高齢者虐待「保健医療福祉サービス介入ネットワーク」会議・第3回日比野区介護予防教室 ・地域包括支援センター運営協議会
3月	・在宅介護支援センター長会議・認知症コーディネーター会議

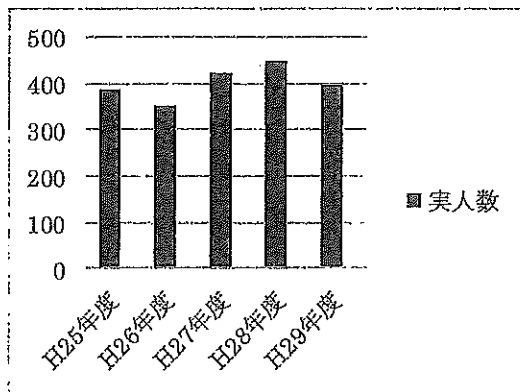
毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援センター部会（第3水曜日）</li> <li>・ 若葉の会「独居の会」（第1水曜日）・なでしこの会「西独居の会」（第4火曜日）</li> </ul>
毎週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅介護支援センター・居宅合同会議（毎週火曜日）</li> </ul>
随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域ケア会議及びケース検討会・見える事例検討会・健康福祉まつり委員会及び認知症オレンジ委員会</li> </ul>
	<p>※年4回支援センター便り発行（5・8・11・3月）</p>

## 平成 29 年度実績報告

過去 5 年間の年間実人数の比

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実人数	387	353	423	450	396

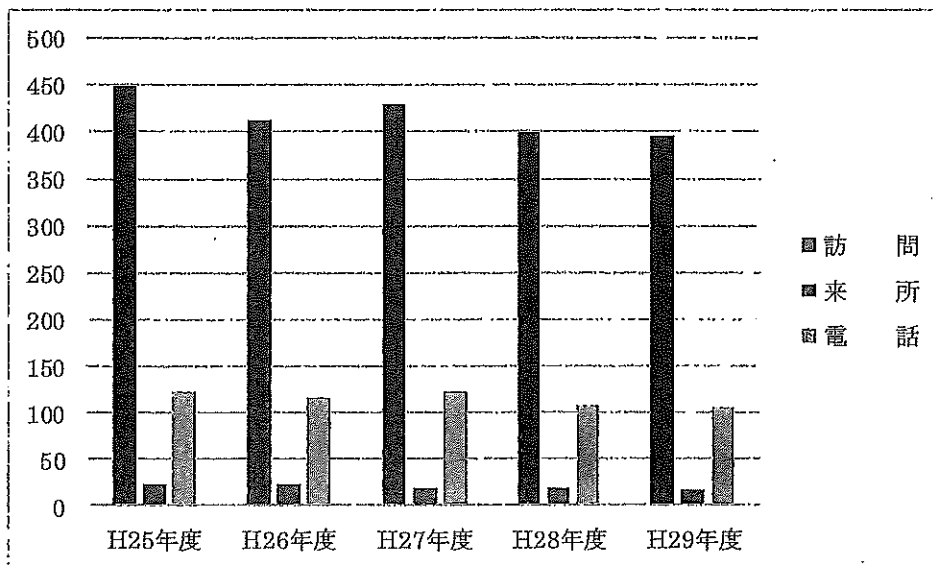
過去 5 年間の実人数のグラフ化



過去 5 年間の相談方法種別件数 (延)

方法	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
訪問	450	412	429	399	396
来所	23	24	19	19	17
電話	123	116	122	108	105
合計	596	552	570	526	518

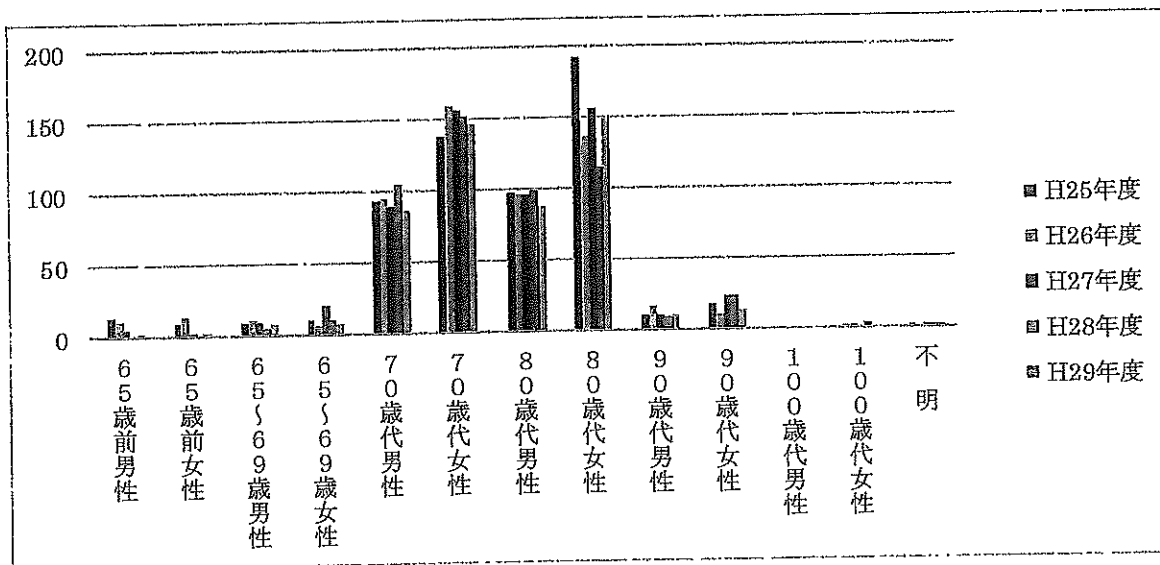
過去 5 年間の相談方法種別件数のグラフ化 (延)



過去5年間の年代別男女の比(延)

性別	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
65歳前男性	13	10	5	0	2
65歳前女性	9	13	1	0	2
65～69歳男性	9	10	9	5	8
65～69歳女性	11	6	20	11	8
70歳代男性	94	95	89	105	87
70歳代女性	138	159	156	153	147
80歳代男性	98	96	97	100	88
80歳代女性	192	136	157	115	150
90歳代男性	11	16	11	9	10
90歳代女性	18	10	23	23	14
100歳代男性	0	0	0	0	0
100歳代女性	2	1	0	3	0
不明	1	0	2	2	2
合計	596	552	570	526	518

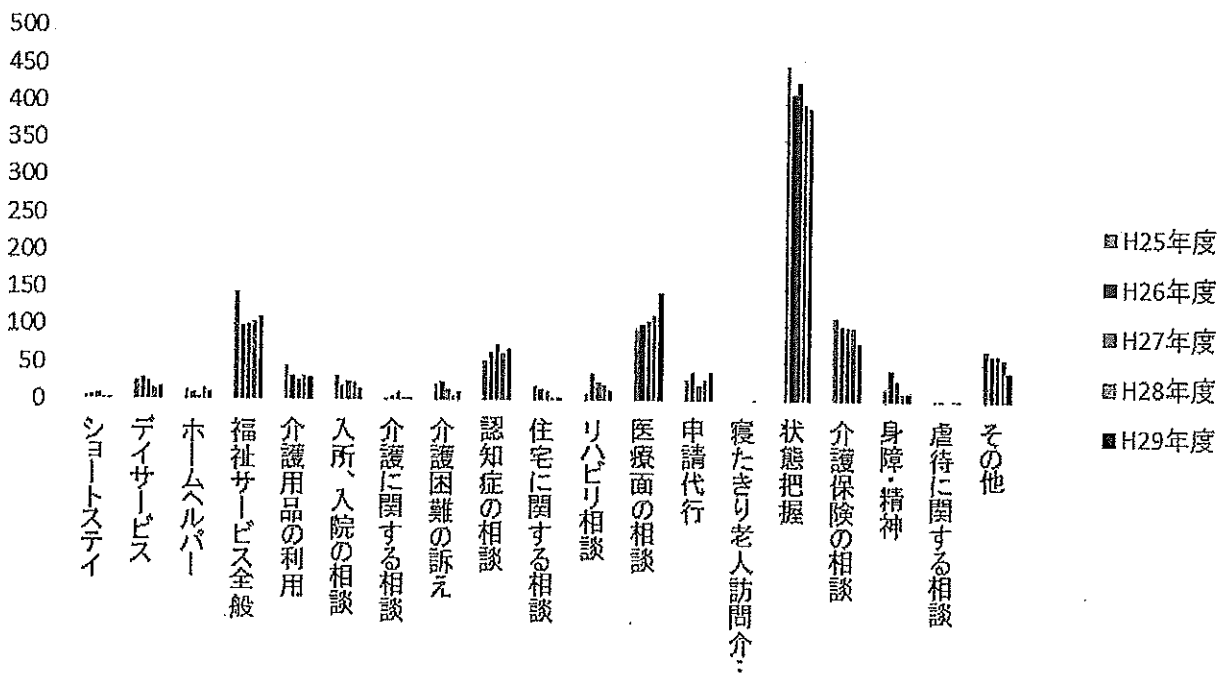
過去5年間の年代別男女のグラフ化(延)



過去5年間の相談種別件数の比(延)

相談内容別	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
ショートステイ	5	6	8	2	3
デイサービス	26	29	26	15	17
ホームヘルパー	14	9	5	15	10
福祉サービス全般	145	99	102	106	110
介護用品の利用	46	32	27	33	30
入所、入院の相談	32	19	25	23	15
介護に関する相談	3	7	9	5	5
介護困難の訴え	21	26	13	6	12
認知症の相談	53	66	74	63	69
住宅に関する相談	20	16	11	4	5
リハビリ相談	10	36	25	21	13
医療面の相談	98	103	107	115	146
申請代行	29	39	21	29	38
寝たきり老人訪問介護、指導	0	0	0	1	0
状態把握	449	413	428	398	394
介護保険の相談	113	101	99	99	78
身障・精神	17	42	29	12	12
虐待に関する相談	2	1	0	3	3
その他	69	63	64	58	40
合計	1152	1107	1073	1008	1000

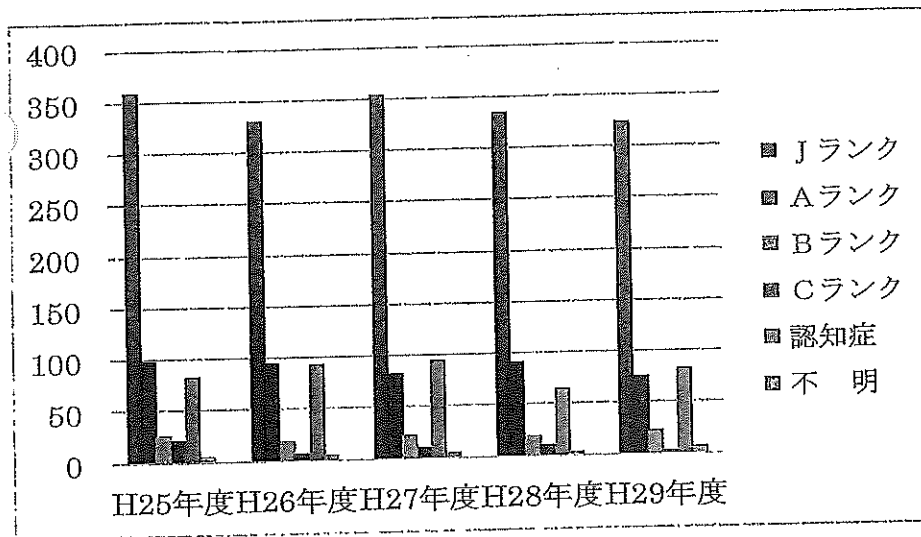
過去5年間の相談種別のグラフ化(延)



過去5年間のADL別の比(延)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
Jランク	359	331	354	335	325
Aランク	100	95	83	92	77
Bランク	26	19	23	20	23
Cランク	22	7	10	10	3
認知症	84	94	95	66	83
不明	5	6	5	3	7
合計	596	552	570	526	518

過去5年間のADL別のグラフ化(延)



・Jランク (ほぼ自立の方) については、在宅介護支援センターが担っている対象者であり、元気な方が多い事でJの数字が伸びています。

・Aランク (何らかのリスクを持つ方) については、介護保険を申請し始める方もみえ在支の関わりも少なくなっており、認定を受けていてもサービスが未利用の方の訪問は継続しており、市からの見守り依頼があった要援護者の実態把握訪問は行っています。

・B・Cランク (歩行困難、寝たきり) については、要介護認定を受けサービスを利用している方が殆んどですが、福祉サービスの利用についての関わり方や介護方法及び介護用品についての問い合わせがある際には助言、紹介を行います。担当CMの指導もある事で昨年とほぼ数字の変化はありません。

・認知症のランクについては、昨年と思うと増加していますが、認知症状が進行した事で同じ方に関わるケースが増え数字も増えている状況です。





平成 29 年度

事業報告

西在宅介護支援センター

## 平成 29 年度事業報告

### 相談実績数について

#### ★訪問相談

在宅介護支援センターでは訪問対象者として、独居高齢者では 65 歳以上、高齢世帯では主に 75 歳以上（後期高齢者）を目安に実態把握の訪問を行っています。訪問実績数は延べ 783 人（前年 696 人）と、前年度よりも増加しました。

#### ★来所相談

当支援センターは平成 23 年 10 月に津島町に事務所を移転し、地域の方に身近な相談窓口として役割が果たせるように啓蒙活動を行ってきました。そのため訪問件数には及びませんが、来所にて相談に来られる方もおられます。平成 29 年度の来所実績数は、延べ 28 件（前年 32 件）でした。

#### ★電話相談

電話実績数は、延べ 138 件（前年 140 件）でほぼ前年と変わらない数字でした。相談内容の中には困り事だけではなく、制度の内容の問い合わせや、行政やケアマネジャー、民生委員からの情報提供依頼等多方面からの問い合わせがありました。在宅介護支援センターの役割も広がってきています。

※地区別の相談については、担当地区の相談がほとんどでしたが、担当地区外（市内）の相談もありました。

### 介護予防事業について

#### ★西独居の会（なでしこの会）

閉じこもり予防、孤立化予防を目的として教室を開催しています。1 人暮らしで主に普段人との関わりが少ない方、身体的・精神的理由で普段から外出が少ない方を対象としています。参加者からは「送迎があるから参加できる」「独居同士なので同じ思いで話しができる」「毎月の参加が楽しみ」等の意見をいただいています。口コミでも広がり前年度よりも実人数が増加しました。この集まりでは参加者の主体性を尊重し、年間計画の内容は参加者と共に検討し実施しています。

※年間回数…12 回 延人数…126 名 実人数…13 名

#### ★西楽々健康体操教室

平成 29 年度の新規事業として自宅で簡単に続けられるストレッチ体操、転倒予防の実践を行う運動教室を企画しました。足腰に自信がなくなってきた方や外出、運動をする機会が少ない方などを対象としています。今までは男性が参加できる集まりがないのが悩みでした

が、体操を主な目的としたことで夫婦や個人でも男性にも参加していただきました。

「送迎があるから参加できる」との声が聞かれますが、参加希望が増えると送迎のマンパワー不足等の課題が出てくると思われます。

※年間回数…10回 延人数…124名 実人数…17名

### 出前講座

今年度も各地域から出前講座の依頼を多くいただき、年間20件程の出前講座に伺いました。介護予防に関する内容が多数でしたが、認知症サポーター養成講座、介護保険制度についての内容の依頼などもありました。ここ数年で定期的に依頼がある地域も増えています。

### 介護者の集い「さくらの会」

今年度も西・南・東地区合同で健康福祉会館を会場として年3回集まりを開催しました。参加者からは「話すだけでも楽になった」「気分転換になった」「みんな同じ様な悩みがあるとわかってホッとした」「対応方法を介護者同士で共有できてよかった」という意見が聞かれました。平成28年度からは市が中央公民館を会場として認知症カフェ「あったカフェ」を定例化していますが、介護者同士でゆっくり話しができる場としては介護者の集いの必要性を感じています。ただ参加者は少ない為、周知の方法が検討課題です。

※年間参加者延人数…6名 実人数…4名

## 西在宅介護支援センター

平成29年度

月	事業報告
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手賀野健康推進サロン出前講座 ・苗木三郷区介護予防教室</li> <li>・認知症カフェ「あったカフェ」[中央公民館]</li> <li>・上宿老人クラブ認知症サポーター養成講座 ・苗木八幡区介護予防教室</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者の集い「さくらの会」 ・大平区悠々クラブ出前講座</li> <li>・苗木日比野区介護予防教室 ・苗木井汲区介護予防教室</li> <li>・桃山区ふれあいサロン出前講座 ・第2回中津川清流リレーマラソン大会[中津川公園]</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ「あったカフェ」[中央公民館] ・苗木認知症家族の会「水晶の会」</li> <li>・苗木地区民生委員100周年記念講演会[苗木交流センター]</li> <li>・西在支相談協力員懇話会 ・瀬戸の里在支相談協力員懇話会</li> <li>・手賀野地区独居ふれあい食事会出前講座[会所ヶ丘クラブ]</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回介護予防従事者研修会[健康福祉会館]</li> <li>・苗木三郷区介護予防教室 ・第1回高齢者虐待防止研修会[健康福祉会館]</li> <li>・熟年大学出前講座[中央公民館]</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ「あったカフェ」[中央公民館]</li> <li>・第2回介護予防従事者研修会[健康福祉会館]</li> <li>・苗木地区民生員、福祉推進員、老人クラブ連合会対象認知症サポーター養成講座[苗木交流センター] ・苗木日比野区介護予防教室</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木認知症家族の会「水晶の会」</li> <li>・万寿会老人クラブ認知症サポーター養成講座[薬師会館] ・苗木津戸区出前講座</li> <li>・第3回介護予防従事者研修会[健康福祉会館] ・大平区敬老会出前講座</li> <li>・介護者の集い「さくらの会」[健康福祉会館] ・在支・CMとの交流会[健康福祉会館]</li> <li>・第2回高齢者虐待防止研修会[健康福祉会館] ・苗木本町区サロン出前講座</li> <li>・岐阜県介護予防活動普及展開事業市町村伝達研修[OKBふれあい会館]</li> <li>・東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究協議会[富山]</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ「あったカフェ」[中央公民館]</li> <li>・認知症サポーター講座PR活動[付知花街道] ・苗木背戸川区出前講座</li> <li>・西小学校認知症サポーター養成講座(4年生対象) ・六区出前講座</li> <li>・後田区コグニサイズ出前講座 ・第4回介護予防従事者研修「認知症講演会」</li> <li>・山手区コグニサイズ出前講座</li> </ul>

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉まつり準備 ・健康福祉まつり [東美濃ふれあいセンター]</li> <li>・西地区社協独居ふれあい食事会出前講座[健康福祉会館]</li> <li>・地域ケア会議研修会 ・苗木三郷区介護予防教室 ・苗木日比野区介護予防教室</li> <li>・苗木井汲区介護予防教室 ・桃山区ふれあいサロン出前講座</li> <li>・付知認知症サポーター養成講座[付知公民館] ・五区出前講座</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木認知症家族の会「水晶の会」 ・苗木三郷区介護予防教室</li> <li>・認知症カフェ「あったカフェ」[中央公民館]</li> <li>・第3回高齢者虐待防止研修会 [健康福祉会館] ・苗木新谷区出前講座</li> <li>・山手区絆会出前講座</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ「あったカフェ」[中央公民館]</li> <li>・2区独居ふれあい食事会出前講座 [星ヶ見荘] ・苗木八幡区介護予防教室</li> <li>・認知症キャラバンメイトフォローアップ研修 [中濃総合庁舎]</li> <li>・後田区コグニサイズ出前講座</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高次脳機能障害研修会[健康福祉会館] ・苗木大牧区出前講座</li> <li>・苗木三郷区介護予防教室 ・六区出前講座</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木認知症家族の会「水晶の会」 ・認知症映画会・講演会[セラトピア土岐]</li> <li>・大平区悠々クラブ出前講座 ・中津川・恵那地域福祉連絡会研修会[恵那総合庁舎]</li> <li>・認知症オレンジ委員会 ・介護者の集い「さくらの会」[健康福祉会館]</li> <li>・苗木井汲区介護予防教室</li> </ul>
定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括・在宅介護支援センター連絡会 (毎月第3水曜日)</li> <li>・瀬戸の里居宅・在支合同支援センター会議 (毎週火曜日)</li> <li>・楽々健康体操教室 (毎月第1月曜日) ※H29年度新規事業</li> <li>・なでしこの会「西独居の会」(毎月第4火曜日)</li> <li>・若葉の会「苗木独居の会」(毎月第1水曜日)</li> <li>・手賀野健康推進サロン (毎月第2月曜日) 区事業運営の協力</li> </ul>
随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議及びケース検討会</li> <li>・健康福祉まつり委員会</li> <li>・マインドマップ手法による見える事例検討会</li> </ul>
<p>※年4回(5月、8月、11月、2月)支援センター便り発行</p>	

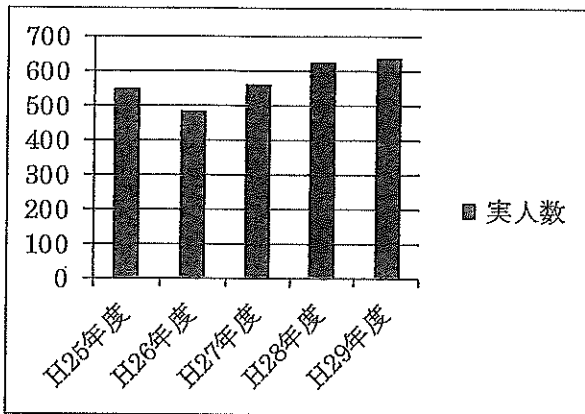
※事業報告内容については、瀬戸の里在支(苗木地区)の事業に協力した内容を含む

# 平成 29 年度実績報告

過去 5 年間の年間実人数の比

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実人数	550	486	564	629	640

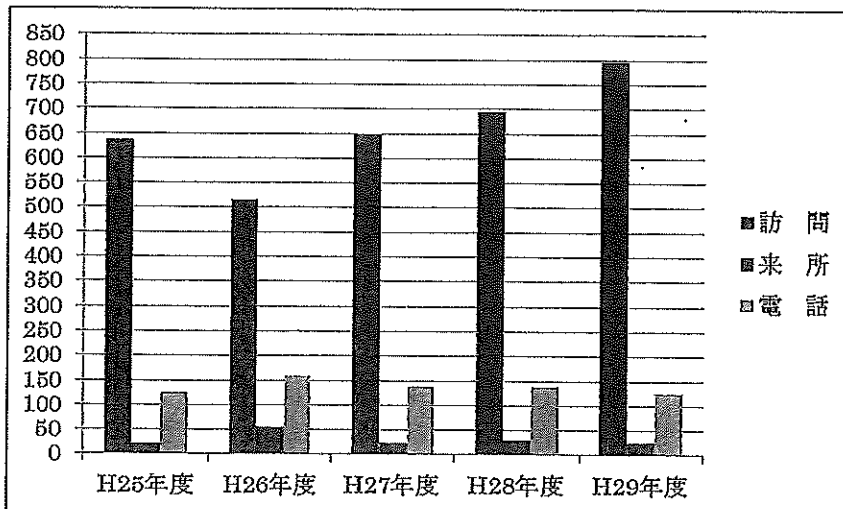
過去 5 年間の実人数のグラフ化



過去 5 年間の相談方法種別数 (延)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
訪問	636	516	649	696	797
来所	23	56	25	32	27
電話	126	159	140	140	125
合計	785	731	814	868	949

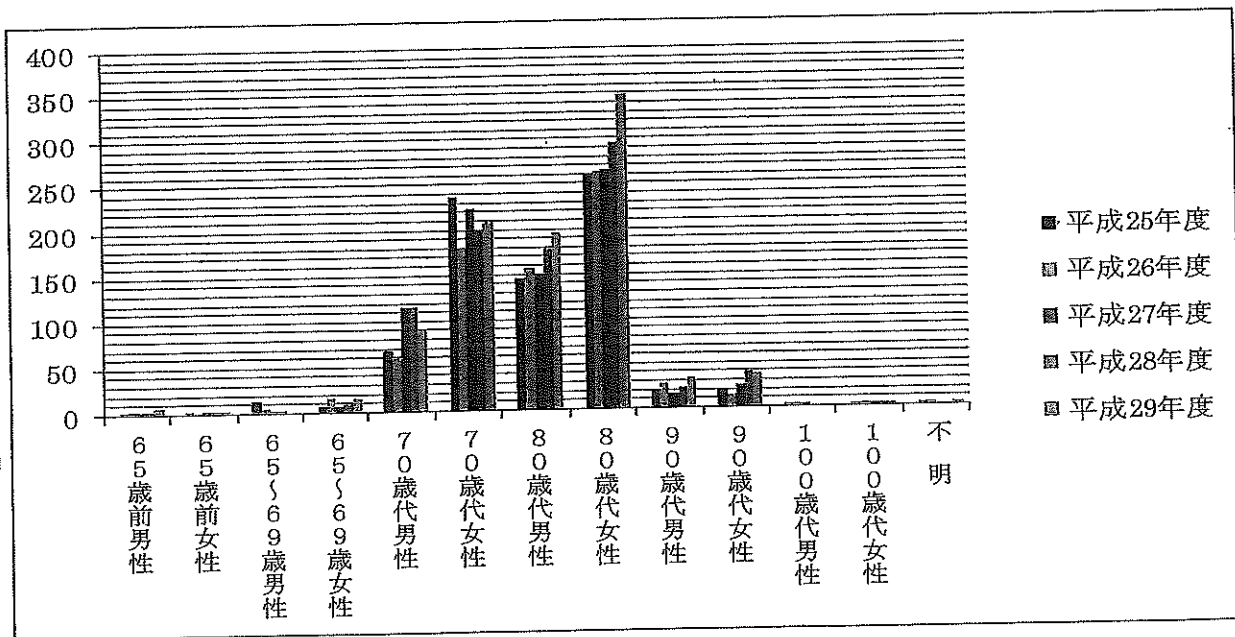
過去 5 年間の相談方法種別件数のグラフ化 (延)



過去5年間の年代別男女の比

性別	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
65歳前男性	2	4	2	1	8
65歳前女性	4	0	2	1	4
65～69歳男性	13	6	3	1	0
65～69歳女性	8	16	8	9	17
70歳代男性	67	60	115	116	92
70歳代女性	236	180	223	201	208
80歳代男性	146	157	150	179	195
80歳代女性	260	262	266	295	350
90歳代男性	21	28	17	22	34
90歳代女性	21	15	24	41	37
100歳代男性	1	1	1	0	0
100歳代女性	3	1	3	2	1
不明	3	1	0	0	3
合計	785	731	814	868	949

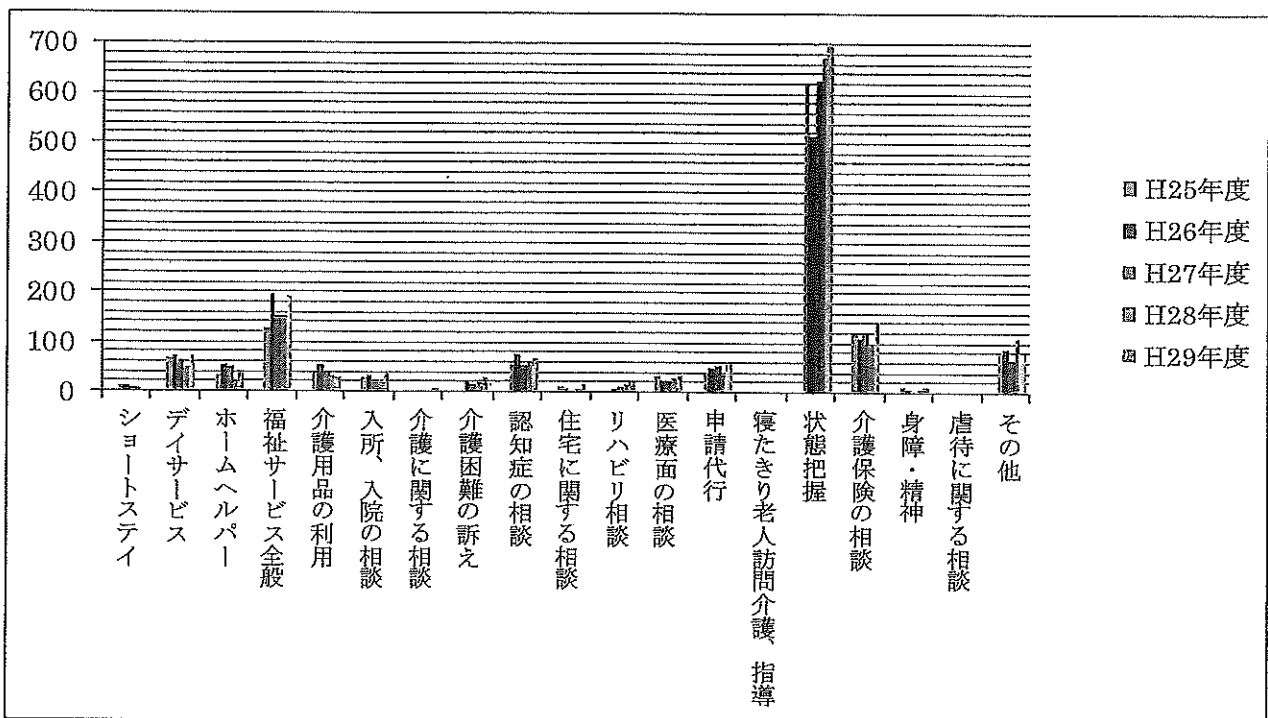
過去5年間の年代別男女件数のグラフ化（延）



過去5年間の相談種別件数

相談内容別	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
ショートステイ	11	12	8	8	2
デイサービス	66	73	60	51	71
ホームヘルパー	34	52	50	25	39
福祉サービス全般	127	193	153	153	189
介護用品の利用	41	52	38	32	28
入所、入院の相談	27	31	23	19	39
介護に関する相談	2	1	3	4	7
介護困難の訴え	3	21	14	18	27
認知症の相談	56	74	52	61	68
住宅に関する相談	11	7	4	6	14
リハビリ相談	0	7	10	16	18
医療面の相談	31	26	25	29	32
申請代行	35	49	55	37	57
寝たきり老人訪問介護、指導	0	0	0	0	0
状態把握	618	513	627	671	737
介護保険の相談	119	111	122	101	143
身障・精神	10	5	3	6	12
虐待に関する相談	1	0	0	0	0
その他	86	90	67	111	83
合計	1278	1317	1314	1348	1566

過去5年間の相談種別件数のグラフ化 (延)

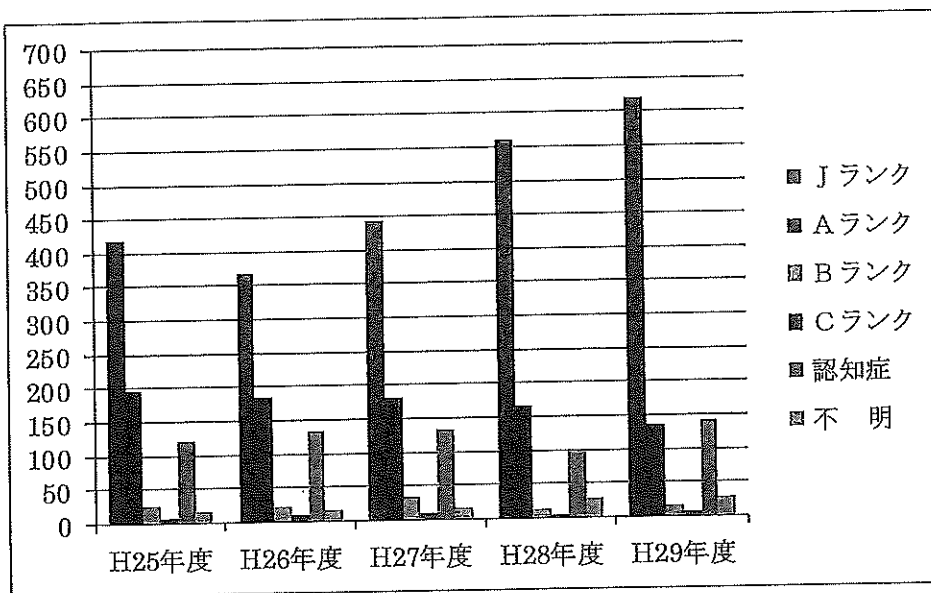




## 過去5年間の相談者 ADL (延)

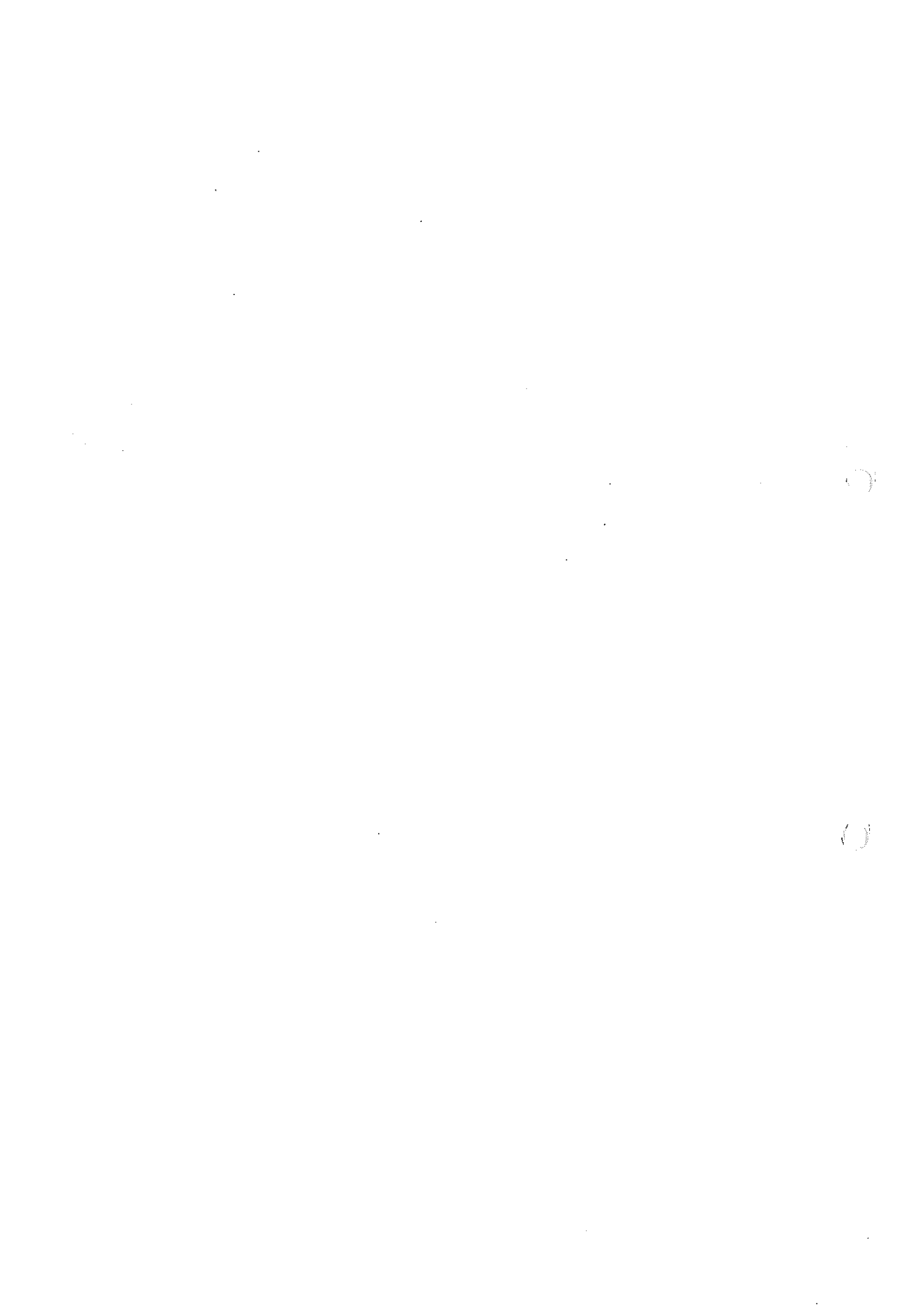
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
Jランク	420	367	443	560	622
Aランク	196	183	180	166	135
Bランク	26	21	34	14	16
Cランク	7	9	9	3	6
認知症	120	134	133	97	143
不明	16	17	15	28	27
合計	785	731	814	868	949

## 過去5年間の ADL 別のグラフ化 (延)



## 過去5年間の ADL の比較

- ・Jランク (ほぼ自立の方) については、支援センターが担っている対象者で、自立の方が多い為、数字が伸びています。65歳以上人口の増加に伴い年々数字は多くなっています。
- ・Aランク (何らかリスクのある方) は、介護保険申請をし始める方もおり支援センターの関わりは少なくなってきました。ただ認定を受けても、サービスが未利用の方や市から見守りの依頼があった要援護者の実態把握訪問や電話相談などがあり、数は多くなっています。
- ・B、Cランク (歩行困難、寝たきりに近い方) は、介護保険を申請されて担当 CM がついている為、CM に直接相談される方が多く支援センターとしての関わりは少なくなっています。
- ・認知症 については、AランクやBランクと重複しており認知症として数が表れてきていない部分もありますが、高齢化に伴い認知症の相談数は増加傾向にあり Jランクに次いで数が多くなっています。身体的に自立で認知症状がある方の相談も増えています。



平成29年度 瀬戸の里ワンコインサロン事業報告  
 平成29年度 西あんきなくらぶ事業報告

事業名	中津川市 集中型一時予防高齢者・介護予防事業
主旨	虚弱・閉じこもりなどの高齢者が要介護状態になることを予防し いざがいや自己実現のための取組を支援していく

	苗木地区			西地区			備考
事業名	瀬戸の里ワンコインサロン			西あんきなくらぶ			
事業日	原則毎週 火曜日 木曜日			原則毎週 水曜日 金曜日			週4日・月4回
実施場所	瀬戸の里介護実習センター			西在宅介護支援センター			
	中津川市瀬戸1387-8			中津川市津島1-25			
	29年度	28年度	前年比	29年度	28年度	前年比	平成29年度計
年間稼働日	96	96	0	96	96	0	192
参加実人員	21	19	2	27	22	5	48
新規参加実人員	3	6	-3	5	8	-3	8
参加延べ人員	650	846	-196	938	927	11	1,588
参加中止	6	4	2	9	7	2	15
(うち介護認定)	6	4	2	9	6	3	15

4月	桜餅作り 花見ドライブ 体操
5月	ドライブ外出 健康体操 レク各種
6月	脳トレ 朴葉寿司 カレンダー作成 健康体操
7月	福祉まつり用作品作り 健康体操 脳トレ カレンダー作成
8月	夏祭りレク 折り紙 体操 レク各種
9月	脳トレ おり紙 健康体操 折り紙
10月	福祉まつり用作品作り 芋餅づくり 健康体操
11月	レク各種 健康体操 紅葉ドライブ
12月	カレンダー作成 レク各種 クリスマス会
1月	初詣 健康体操 カレンダー作成
2月	折り紙 健康体操 脳トレ おやつづくり
3月	健康体操 ちらし寿司作り カレンダー作成 レク各種



事務局長



仕様書夕(3)により市に提出したい

拠点長	施設長	副施設長	事務局長	担当者
土屋	土屋		森	長護

起案者 名前 長護美穂子



起案 30年4月12日

発送 30年4月18日

養護老人ホーム中津川市清和寮  
平成29年度 事業報告書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

社会福祉法人五常会

入居状況

(実人数)

区分		男	女	合計
入居者数		12	17	29
年間	入所	1	2	3
	退所	1	0	1

	男	女
最高年齢	87	100
最小年齢	67	67
平均年齢	75.8	85.9
	81.8	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
内訳	在宅	1					1						1	3
	病院													0
	老健他													0
退所者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
内訳	死亡												1	1
	入院													0
	家庭復帰													0
	その他													0

利用状況

年間月初利用人員

9,701

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	2	4	2	0	1	9
今年度	4	1	3	1	0	9

※ 入院・外泊は利用人数に含めない

平均要介護度 1

定員	16,425	稼働率	59.06%
----	--------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
8	2	3	9	2	1	2	2

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
24	3	0	0	18	7	2	0	0	27

事故報告状況

転倒・ざり落ち	誤薬	誤食	行方不明	裂傷	その他	合計	保険適用件数
1	0	0	0	0	0	1	1

※ 「転倒・ざり落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る。

苦情相談件数

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	0	0

身体拘束状況

4本柵対応	ミトン使用	つなぎ寝巻き着用	安全ベルト使用
0	0	0	0

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤(A)	1	0	1	0	8	1	1	0	1	0	0	13
非常勤(B)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
非常勤の常勤換算(C)	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.1
(A)+(C)	1	0.1	1	0	8	1	1	0	1	0	1	14.1

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	0 人	正看護師	1 人
介護福祉士	6 人	准看護師	0 人
介護支援専門員	2 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立									1	2	2	3	8
支援1													0
支援2													0
介護1													0
介護2													0
介護3													0
介護4													0
介護5													0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	3	8





理事 二村 求

事務局長 二村 求

拠点長	事務局長	所長	担当者
土屋	三井	二村	

起案者 氏名 二村 求  
 起案 平成 30 年 4 月 9 日  
 發送



ゆうわ苑デイサービスセンター  
 平成 29 年度  
 事業報告書

# 事業概況報告

ここ数年旧市内におきまして、複数の新規通所介護事業所の開設で、通所介護事業所が飽和状態となり新規ご利用者獲得が苦戦している中、平成 29 年度計画数 4,465 名、稼働率 80.3%、の目標に向いスタートを切りました。

新規通所介護事業所の多くは、都心部での成功例を取り入れた機能訓練に特化した通所介護事業所や、通称「お泊りデイ」なる宿泊可能な通所介護事業所であり、旧来型の通所介護事業所が敬遠され苦戦を強いられています。「苑の存続の危機」であると言う危機感を持ち利用者様の増員を図る為、「ゆうわ苑で出来る事」を職員間で知恵を絞り、口腔機能向上の為に食前の口腔体操の実施や、機能低下予防の為にレクリエーション前の機能低下予防体操を取り入れ、希望者には機能訓練指導員を中心に3mの歩行バーを用いた歩行機能向上の取り組みや、油圧マシンを使用した機能低下予防運動の取り組みを実施しました。売上は前年度を下回る事は有りませんでした。稼働率の落ち込みにより、平成 29 年度目標 4,465 名に対して実績数 4,155 名、達成率 93.1%と目標を達成する事は出来ませんでした。

平成 30 年度も、稼働率低迷により苦しい運営が予測されます。飽和状態である通所介護事業所同士の利用者獲得競争や、お泊りデイやショートステイと通所介護事業所とを併用される利用者様の増加影響を考えると、安定した稼働率の維持は難しく、なお一層の売上獲得の方策が必要と考えます。中重度加算・認知症加算の取得を維持しつつ、居宅支援事業所の開設検討なども行い、収益向上を考え邁進して参ります。

ゆうわ苑は、開所より 29 年目となり設備の老朽化も顕著です。お客様のニーズに合ったサービスの提供や施設の改修・補修が必要であると思われれます。今後も職員一同危機感を持ち、コンプライアンスを重視し、ご利用者様・ご家族様・介護支援専門員様より選ばれる施設となる様、ご利用者様確保に努めてまいります。

# 平成29年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500131			定員(A)	18人			総合事業 A5有
事業所名	デイサービスセンターゆうわ苑			3月利用実人員	40人			
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日	月～土(年未年始を除く)			
報酬単価 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,470	33,770	7,350	8,680	10,060	11,440	12,810
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算 (I)イ	720	1440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	介護職員処遇改善加算 (I)	688	1,408	339	392	448	503	558
	※1 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
	利用料日額合計	17,878	36,618	9,539	10,922	12,358	13,793	15,218

※1.要支援の昼食・間食は720円に利用回数を加味した金額を加えてありません 「認知症加算」60単位は個別加算のため記載してありません

	平成29年度実績	平成28年度実績	前年比較
稼働日数	309日	309日	0
平均年齢	86.8歳	87.1歳	-0.30
男女別人員	男1752人 女2403人	男1723人 女2519人	—
平均介護度	2.9	2.6	0.3
要支援 I	20人	0人	20
要支援 II	8人	144人	-136
要支援合計	28人	144人	-116人
要介護 I	1,116人	1,081人	35
要介護 II	1,219人	1,351人	-132
要介護 III	519人	574人	-55
要介護 IV	682人	491人	191
要介護 V	591人	601人	-10
要介護合計	4,127人	4,098人	29
年間総合計	4,155人	4,242人	-87
年間総定員	5,562人	5,562人	0
稼働率	74.70%	76.27%	
計画数	4,465人	4,650人	-185
達成率	93.06%	91.23%	

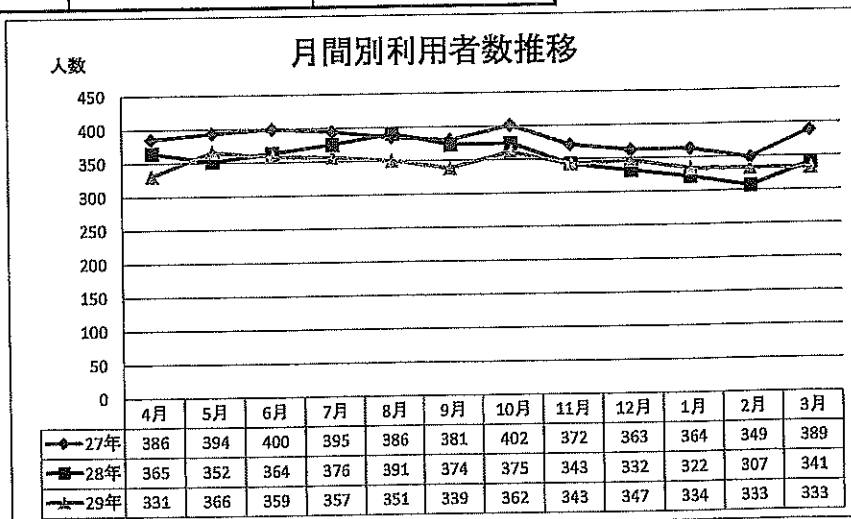
苦情	
29年度	28年度
0	0

第三者委員まで  
報告を要した件数

事故	
29年度	28年度
0	0

保険を適用件数

職員等の状況		
兼務の場合は主職種		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	1	
介護士	4	3
看護師(機能別給)	1	2
支援	1	



中津川市デイサービスセンターゆうわ苑

## 平成29年度 利用者年間行事報告

月	行事名	内容【各一週間目処】	実施期間	参加人員
4	イチゴ狩り	旬の「苺」を参加者一人一人が収穫。食して季節を感じる	4/19~27	20名
	花見ドライブ	桜の名所をめぐるドライブ 季節を感じて頂く	4/3~8	
5	端午の節句	五月飾りの工作・折り紙鼻工作	随時	
	花見ドライブ	さつきや芝桜をめぐる花見ドライブ外出	随時	
6	外出	喫茶外出 げんさいやへ行き雰囲気を楽しんで頂く	5/26~30	
	書道	昔取った杵柄、書をしたためて頂き苑内に掲示	6/15・19	
7	七夕祭り	ミニ七夕飾り	7/1~5	
	書道	昔取った杵柄、書をしたためて頂き苑内に掲示	18・19	
8	夏祭り	施設内にて縁日の雰囲気を楽しんで頂く	8/8~10	
	外出	喫茶外出や散歩へお連れし地域社会との交流	8/25~31	23名
9	防災訓練	防災意識の向上と、安心安全な運営体制の確認	9月12日	
	敬老の日	「敬老膳」を用意し敬老を祝いする	9/18~20	39名
10	ミニ運動会	施設内で玉入れ競技など紅白に分かれて開催	10/13~14	
	手作五平餅	新米の収穫を祝い五平餅を食べる	10/17~20	延69名
11	紅葉ドライブ	モミジやイチョウなど紅葉の名所を巡るドライブ	11/9~10	
	他施設交流会	音生人デイサービスセンターとの交流会	11月20日	10名
12	忘年会	利用者忘年会	12/6~8	延39名
	工作	クリスマス飾り工作	12/4~5	
1	初詣	近くの神社、仏閣に参拝	1/5, 6 8, 9	23名
2	節分	季節行事・豆まきを行い、無病息災祈願	2月3日	
	外出	喫茶外出や散歩へお連れし地域社会との交流	2/27, 28 3/1, 2	20名
3	外出	つるし雛飾り見学(東美濃触れあいセンター)	3月3日	
	桃の節句	雛飾り作り人形工作	3/12~13	
年間通して		音楽療法(毎月1回)・ソロバン教室(毎月1回)・落語(不定期) 口腔体操(毎日)・機能低下予防体操(毎日)・三味線サックス演奏(四半期1回)		

※尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供(月初めに計画)  
 ※苑内喫茶店は随時。

平成 29 年度  
事業報告書



福岡デイサービスセンター  
福岡ショートステイ事業所

## 事業概況

### デイサービス事業

#### 《総合事業 A5・通所介護》

平成29年度は目標計画数 5,100 件に対して実績 4,883 件の達成率95%で目標値を達成出来ませんでした。稼働率は76%と昨年度とほぼ横ばいの数値となり、更なる稼働率向上に向けての事業展開が必要となります。原因としまして他事業所への新規利用者様の流入や特養などの入所・転倒による入院等が重なり、稼働率の向上にまで至りませんでした。近年新規事業所の開設により更なる競争の激化が見込まれます。早急な対応として各居宅介護支援事業所に当事業所をアピールするツール(パンフレットや新聞の発行等)を配布し、介護支援専門員から利用者様へ施設紹介のツールとして活用して頂ける取り組みを行うと共に、介護支援専門員との更なる信頼関係の構築を図り、様々なニーズを柔軟に対応できる事業所を目指します。入浴や食事提供時・体操やレク等様々な場面での利用者様の心身・身体の状態の把握に努め、常に介護者様や居宅介護支援専門員・関係機関などと連携・協働しながら、利用者様の在宅生活が継続できるようアプローチ致しました。また介護者様や地元住民の方を対象とした『介護の集い』を地域包括支援センターと共同で年2回開催しまして、好評を頂いております。他にボランティアの方を対象とした介護教室を7月に開催しまして、地元の広報誌に掲載されました。今後も地域貢献に向けた様々なニーズを積極的に取り入れ、町内で気楽に立ち寄れるような存在感のある事業所を目指していきたいと思っております。職員のサービスの質の向上を図るために、介護サービスの原点に立ち戻った勉強会を行ない、非常災害時の対応の研修や高齢者虐待・感染症・地域連携等の外部研修にも参加し、情報共有を図りました。傾聴・落語・手品等のボランティアの積極的な受け入れや保育園・小学校との交流会も行い、外部との交流も図れた1年となり利用者様に楽しんで頂きました。利用者様の自立支援と生活リハビリに繋がるプログラムとして午前中は脳トレや手芸・工作や園芸などに取り組みました。またパチンコやスロットを導入し、楽しみに繋がるプログラムを用意しまして、男性利用者様から好評を頂いております。リハビリ体操では認知症予防体操としてコグニサイズを取り入れ、スタッフと一緒に楽しみながら行いました。様々な季節行事・工作等を企画し、春の日帰り旅行・秋の作品展出品やぶどう狩り・忘年会など多数参加して頂き好評いただいております。

## ショートステイ事業

## 《介護予防短期入所生活介護・短期入所生活介護》

今年度は計画数 699件に対して達成率が95%・稼働率 86%と昨年度の稼働率より4%減少しました。原因としまして、施設入所や他ショートステイ事業所への利用(土・日営業)・体調不良によるキャンセルなど重なりました。またご家族や介護支援専門員から土・日稼働の要望があり、今後の事業展開における課題の一つとなります。

他事業所との違いとしてデイサービス併設で日中は通所の方と一緒に過ごす事が出来るため、慣れた施設で泊まりたいというニーズがあり、定期的な利用に結び付いています。また定期的なショートステイの利用による介護者様の介護負担の軽減が図れるよう取り組みました。

家庭的な雰囲気をモットーに個々の生活習慣の尊重・健康管理の重視に努め、介護支援専門員や御家族様との連携も密に行ないました。今後は自立支援に向けたプログラムを取り入れ、在宅生活を支援できる事業所を目指し、利用者様・介護者様のニーズに添える様なサービスを行いたいと思います。

平成29年度 稼働状況等報告

指定番号	2172000669			定員(A)		25名		予防有
事業所名	福岡デイサービスセンター			3月利用実人員		61人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～金(年末年始を除く)		
報酬単価 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～9h単価	16,470	33,770	6,560	7,750	8,980	10,210	11,440
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	240	480	60	60	60	60	60
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	668	1,370	303	350	400	449	498
	※1 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
利用料日額合計	17,378	35,620	8,593	9,830	11,110	12,389	13,668	

※1.要支援の昼食・間食は720円に利用回数を加味した金額を加えてありません

「認知症加算」60単位は個別加算のため記載してありません

	平成29年度実績	平成28年度実績	前年比較
稼働日数	257日	258日	-1
平均年齢	87.25歳	87.22歳	0.03
男女別人員	男1140人 女3743人	男1278人 女3578人	男-138人 女165人
平均介護度	2.3	2.3	0.0
要支援Ⅰ	224人	190人	34
要支援Ⅱ	128人	265人	-137
要支援合計	352人	455人	-103
要介護Ⅰ	1,098人	900人	198
要介護Ⅱ	1,440人	1,667人	-227
要介護Ⅲ	1,317人	1,098人	219
要介護Ⅳ	541人	563人	-22
要介護Ⅴ	135人	173人	-38
要介護合計	4,531人	4,401人	130
年間総合計	4,883人	4,856人	27
年間総定員	6,425人	6,450人	-25
稼働率	76.00%	75.29%	-7
計画数	5,100人	5,300人	-200
達成率	95.75%	91.62%	6%

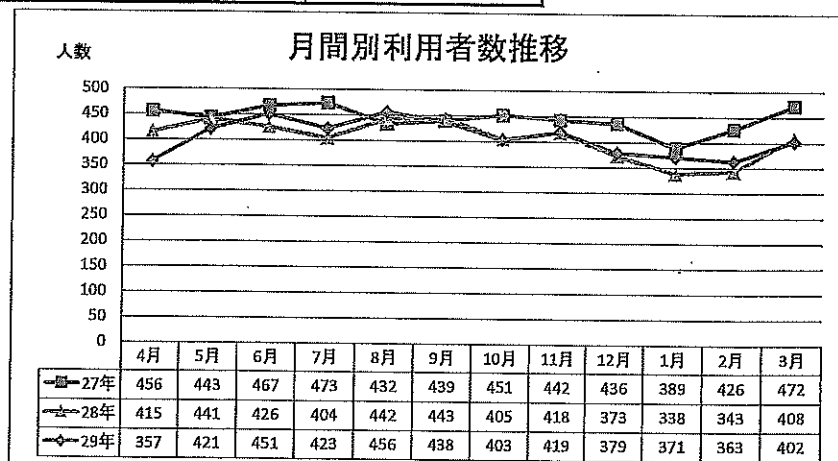
苦情	
28年度	27年度
0	0

第三者委員まで  
報告を要した件数

事故	
29年度	28年度
1	0

保険を適用件数

職員等の状況		
兼務の場合は主職種		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	2	
介護士	2	3
管理師(技能師)	1	1
支援	1	
栄養士	1	





## 平成29年度 稼働状況等報告

指定番号	2181500063			定員(A)	3人			予防有
事業所名	福岡ショートステイ事業所			3月利用実人員	14人			
運営時間	月曜日8時30分～金曜日午後5時30分			稼働日	年末年始と土・日を除く毎日			
報酬単価 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	一日あたりの基本料金	483	600	645	715	787	857	926
	送迎加算(往復)	368	368	368	368	368	368	368
	サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	6	6	6	6	6	6	6
	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	21	24	25	27	29	31	33
	滞在費	1150	1150	1150	1150	1150	1150	1150
	朝食・昼食・間食・夕食	1380	1380	1380	1380	1380	1380	1380
利用料日額合計	3,408	3,528	3,574	3,646	3,720	3,792	3,863	

	平成29年度実績	平成28年度実績	前年比較
稼働日数	255日	257日	-2
平均年齢	87.21歳	88.79歳	-1.58
男女別人員	男45人 女620人	男95人 女599人	男-50人 女21人
平均介護度	2.5	2.7	-0.2
要支援Ⅰ	0	0	0
要支援Ⅱ	0	0	0
要支援合計	0	0	0
要介護Ⅰ	88	103	-15
要介護Ⅱ	236	204	32
要介護Ⅲ	211	223	-12
要介護Ⅳ	115	92	23
要介護Ⅴ	15	72	-57
要介護合計	665	694	28
年間総合計	665	694	-29
年間総定員	765	771	-6
稼働率	86.93%	90.01%	-3%
計画数	699	660	39
達成率	95.14%	105.15%	-10%

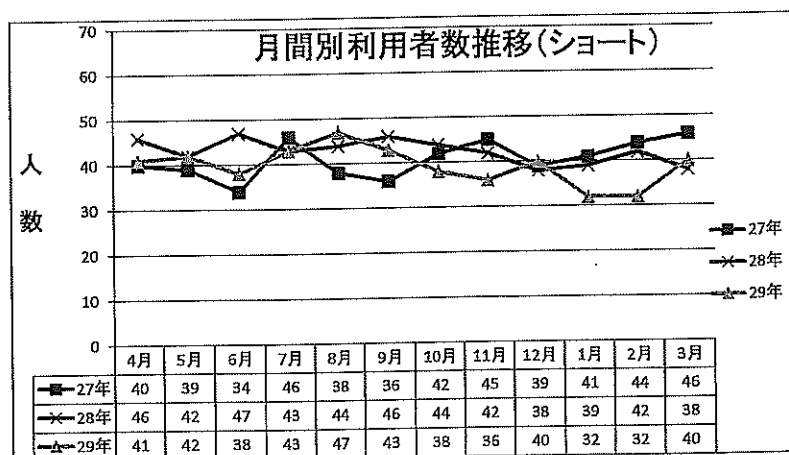
苦情	
29年度	28年度
0	0

第三者委員まで  
報告を要した件数

事故	
29年度	28年度
0	0

保険を適用件数

職員等の状況		
兼務の場合は主職種		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	2	
介護士	2	3
看護師(保健師)	1	1
支援員	1	
栄養士	1	



\*退所日は除いた数値です

# 平成29年度 利用者年間行事報告書

福岡ダイサービスセンター

月	行事名	内容	実施期間	参加人数
4	日帰り旅行いちご狩り	季節行事、多治見へ一日日帰り旅行へ出掛け、春の味覚を堪能して頂く 場所 NPO法人 だいち(飯田市)	4月15日	22名
5	消防訓練	利用者様を交えて、災害時での避難訓練を行う (全利用者対象)	5/25~31	79名
	買物外出	日頃買物に出掛けられない方に買物をして頂く (希望利用者対象) 場所 パロー苗木店	5/15~19	37名
6	郷土食(朴葉寿司)	施設敷地内の野外にて、季節を肌で感じながらの食事 (全利用者対象)	6/5~9	105名
7	七夕短冊作り	七夕の短冊作りや飾り付けを行なって頂き、季節感を味わって頂く	7/3・4・5・6・7	105名
	七夕会食	七夕をイメージした会食の提供を行い、季節の風物詩を味わって頂く	7/3・4・5・6・7	112名
8	夏祭り	夏祭りの季節となり、屋台にて出し物(金魚すくい・輪投げ・ヨーヨー釣り・射的)を行って頂き、雰囲気を楽しんで頂く	8/2・3・4・6・8	95名
	喫茶外出	坂本にある喫茶「ぱんど」様の御協力にて喫茶店の雰囲気と美味な飲み物やデザートを堪能して頂く (希望利用者対象)	8/21・22・23・24・25・9/2	47名
9	敬老週間・敬老会食	敬老の日になんで喜寿・米寿・白寿の方にお祝いを行う また、日頃の感謝を込めて会食を提供し、レク時に職員・ボラによる演芸を披露	9/13~19	米寿3名 白寿2名 計116名
	ぶどう狩り	中津川市落合・山本農園でのぶどう狩り 季節の味を堪能して頂く (希望利用者対象)	10/4・5・6・9・10	42名
10	運動会	施設内にて2チームに分かれ、当時の競技を取り入れながら、回想して楽しんで頂く	10/16~20	96名
	避難訓練	利用者様を交えて、災害時での避難訓練を行う (職員への知識向上・マニュアルの見直し)	11月29日	18名
11	買い物外出	日頃買物に出掛けられない方など買物をして楽しんで頂く (希望利用者対象) 場所 坂下「サラ」	11/13・14 16・17・22	35名
12	忘年会	今年一年の感謝を込めて持ち寄った余興や特技を披露して楽しんで頂く 『かんぼの宿』にて開催(希望利用者対象)	12月9日	26名
	鍋会食 餅つき	年内最後の行事として鍋料理を堪能して頂き、餅つきは利用者に参加して頂き、年越しの雰囲気を味わって頂く (全利用者対象)	12/25・26・27 28・29	92名
1	初詣	新年を迎えて、近隣の神社仏閣への参拝 (全利用者対象)	1/4・5・8・9・10	72名
2	節分	季節行事・鬼に扮したスタッフに豆まきを行い無病息災祈願 (全利用者対象)	2/2・3・4・5・6	92名
	寿司会食	寿司屋の雰囲気を感じて頂きながら、寿司を振舞い堪能して頂く (全利用者対象)	2/14・15・16・19・20	82名
3	喫茶外出	坂本にある喫茶「ぱんど」様の御協力にて喫茶店の雰囲気と美味な飲み物やデザートを堪能して頂く (希望利用者対象)	3/12~16・20・23・26	47名
毎月	誕生日会	当月の誕生日を迎える利用者様へのお祝い		
	手作りおやつ	利用者参加でのおやつ作り		
	温泉入浴	温泉入浴剤などを使用して小旅行気分を味わって頂く		

平成 29 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 五常会  
特別養護老人ホーム  
みずなみ 瀬戸の里

## 事業概況

今年度の稼働率を 96% を目標としてきましたが、4月・5月・6月の入院日数が多く稼働率を上げることが難しく、稼働率目標を 95% に修正しました。冬場は感染症対策として早めの面会謝絶の策をとったこともあり施設内での感染症発症事例もなく、入院外泊日数が減少し、また退居から入居までの空日数を減らす取り組みも功を奏し結果として 95% を超える稼働率を達成することができました。また、昨年(28年度)に比べ、退去者数も 13 名ほど減り 1 ヶ月に 5・6 名の退去という状況が無く、早めの面接実施をしていくことで計画稼働率を上回ることが出来ました。次年度は、年間を通して安定した稼働率で持っていけるようにしていきたいと思えます。

職員不足は今年度も深刻な状況でした。開設当初からの職員は還暦を迎えるようになってきましたが、それでも夜勤をやらしてもらわなければならない状況であり、またパート職員に早番をやらしてもらって勤務が成り立っている状況でした。また、リーダーの育成に失敗し、職員のモチベーションを下げたしまい離職者も出てしまいました。

EPA 介護福祉士候補者の獲得については法人で 1 名にとどまり、現就業中の候補者への影響、施設の介護従事者の充足という面でも残念な結果となってしまいました。

職員不足の中、入居者へのサービスや行事などは例年通り実施でき、入居者やご家族からも良い評価をいただきました。

施設での看取り希望も増え、精神的負担ではありますが看取り対応のご家族には満足していただけていますので、引き続き、ご家族と共に最期までお世話させていただきたいと思えます。

今年度取組みはじめた機能訓練を次年度まで持ち越してしまいましたので、早い段階で実施できるように努めます。

身体拘束において、指導監査でも指摘を受けました。意識改革を行い件数を減らし、拘束せざるを得ない方には少しでも短い時間にし、今後の減算対象にならないようにしていきます。

## 行事

4月	オープン喫茶	花見ドライブに行けないので、天気の良い日に外で喫茶を行い、カラオケを歌う。
8月	19日 納涼夏祭り	夏の夜のひと時をご家族と一緒に過ごしていただく。参加家族 158人
9月	21日 敬老祝い	百寿1名・米寿3名・喜寿3名の方に花束を渡し、ちゃんちゃんこを着て写真撮影。
10月	11日 稲津幼稚園児のお遊戯慰問 25日 開園11周年記念 (五平会食)	毎年園児がお遊戯をしに来てくれるので、今年は敬老会ではなく別の日にきてもらい楽しいひと時を過ごす。  開園10周年を記念して、入居者の方が好きな五平餅を入居者と職員と一緒に食べてお祝いをする。
11月	18日～26日 文化祭 (作品展)	入居者の作品をユニットごとに展示し、各賞をつけて、面会の方たちにも見ていただきました。  喫茶を展示しているところでやり、メニューに汁粉を提供した。
12月	24日・25日 クリスマス会	各ユニットで計画しクリスマス会を実施。入居者皆さんにプレゼントとクリスマスケーキを食べる。
12月	28日 餅つき	入居者の方に餅つきを見ていただき、花餅を作成し、正月の準備を入居者とする。

1月	30日 新年会	慰問（ちんどん屋、手品等） 職員による出し物はしないで、外部の方に来ていただきやってもらいました。
2月	鍋会食	各ユニットで希望の鍋を入居者に出してもらい、職員と一緒に鍋を囲む。 今年度はお好み焼きもありました
2月	3日 豆まき	各ユニットへお面をかぶった職員が回り、大きな枡の中の新聞紙の玉を投げ鬼を追い出す。 ヒイラギの木をユニットに飾り昔の風習を感じてもらおう。

- \* 各ユニットで誕生会を、本人の要望を聞き外食したり、みんなでケーキを食べたりしてお祝いをしました。
- \* ユニットで行事の企画をし実施する。
- \* ユニットで、おやつ作り

### 会議・委員会の開催

会議	職員会議	月一度、各ユニット・各セクションが集まりケアの共有と統制等を図る
	リーダー会議	各ユニットのリーダーが集まりケアの充実、職員の統制を図る
	ユニット会議	毎月ユニット内でのケアの統一やユニットの問題点について話し合い 時間外ユニット会議も行い、ユニットケアの充実に努める

	担当者会議	月1度各ユニットで会議の日を決め実施。入居者の担当者を決め、個別ケアに向けての会議を実施。
	医療委員会（褥瘡対策・感染症対策）	褥瘡の悪化を防止し、ケアの統一を図る。
		インフルエンザ・ノロウイルス・食中毒に感染しないように検討する。
	介護・看護技術委員会	介護職・看護職の技術向上について 内部研修を企画・実施 6/28 感染症対応研修 7/26 食中毒予防研修。 10/25 窒息事故対応研修 3/28 口腔ケア研修

入居状況

(実人数)

区分		男	女	合計
入居者数		10	70	80
年間	入所	4	23	27
	退所	7	19	26

	男	女
最高年齢	90	99
最小年齢	78	76
平均年齢	86	88
	87	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		3	2	1	3	2	4	2	2	4	1	1	2	27
内訳	在宅	2	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	7
	病院	1	1	0	1	1	0	0	0	2	1	0	2	9
	老健他	0	1	1	0	0	4	1	1	1	0	1	0	10
退所者		3	1	2	2	3	3	3	4	1	2	1	1	26
内訳	死亡	3	0	2	2	1	2	1	3	0	2	1	1	18
	入院	0	1	0	0	2	1	2	1	1	0	0	0	8
	家庭復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	69	959	6,504	10,338	8,777	26,647
今年度	31	608	8,380	12,697	7,110	28,826

平均要介護度 3.90

年間稼働率 95.59%

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
4	0	18	7	11	25	12	3

80

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
29	44	6	0	25	21	25	8	0	79



事故報告状況

転倒・骨折	誤薬	誤食	徘徊（施設外）	裂傷	合計	保険適用件数
2	0	0	0	0	2	3

苦情相談件数

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
3	0	0	1

身体拘束状況

4本柵対応	ミトン使用	つなぎ寝巻き着用	安全ベルト使用
2	0	1	7

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤	1	0	1	1	34	5	1	1	2	0	0	46
非常勤	0	1	0	0	8	1	0	0	1	0	3	14
非常勤の常勤換算	0	0.1	0	0	5	0.6	0	0	0.6	0	1.5	7.8
合計	1	0.1	1	1	39	5.6	1	1	2.6	0	1.5	53.8

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	1人	正看護師	3人
介護福祉士	20人	准看護師	3人
介護支援専門員	4人		

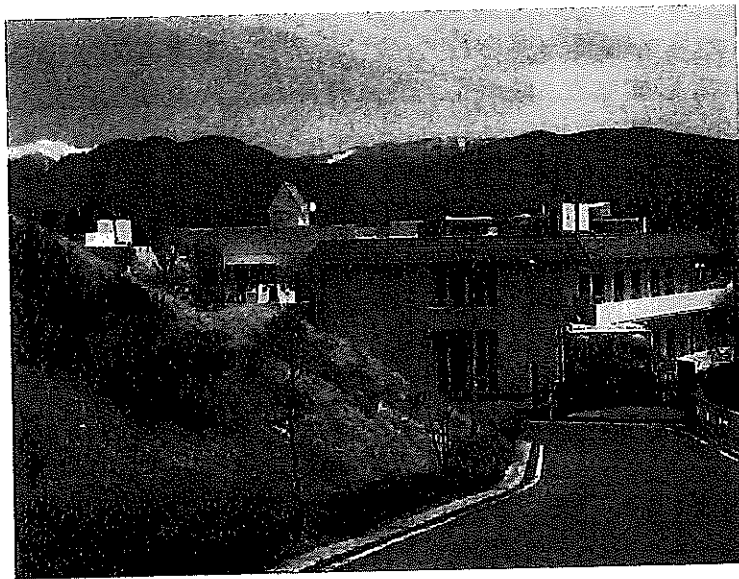
短期入所（ショートステイ）事業年間利用状況

3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



平成 29 年 度  
事 業 報 告 書



社 会 福 祉 法 人 五 常 会  
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム ニ ッ 森  
ニ ッ 森 シ ョ ー ト ス テ イ  
ニ ッ 森 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー  
ニ ッ 森 居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー

## 二ツ森の目標、職員の行動に関する重要な柱

東濃地区一番の接客態度【挨拶、言葉づかい、態度、表情】の良い施設、笑顔で明るく元気よく！平成21年度から二ツ森中期的目標として掲げ、「優しさ」「気づき」をキーワードとし、五常会職務指針の浸透に取り組んでおります。

## 平成29年度 二ツ森拠点の事業概況

平成24・25年度、二期連続での大幅な赤字決算以降収支改善を最大の経営課題とした結果、辛うじて26・27年度は黒字へと転換いたしました。しかしながら平成28年度、再び赤字に転落、引続き赤字を計上することは決して許されない最低限の使命とし、在宅系稼働率の不安定リスクからの回避と拠点全体の損益改善を目的とし、平成30年1月1日付、特養定員を50名から55名(+5)、SS定員を10名から5名(-5)と、定員変換を図りました。平成30年1月損益においては、入替による付随コストを大きく見込み赤字を予測、翌2月から損益改善効果が出始め、決算は黒字となる計算でした。

しかしながら1月末よりインフルエンザが蔓延し、感染対策としてそれ以降ショートステイの受入中止(2/19解除)、特養新規入所も慎重になるなど大幅な収入減により赤字、それまでの差額を使い果たしてしまう等、極めて厳しい状況となりました。

黒字決算は最低限の使命ではありましたが、感染対策に追われ介護現場は疲弊しており、損益よりも現場の安定を優先することに方針を変更いたしました。

3月は安定化を図りながらも職員一丸となり立ち向かい、事業活動当期活動増減差額は極めて僅かだが黒字で決着いたしました。※但し、決算整理仕訳計上後は差額マイナスとなりました。主な要因は次のとおりです。

### 1. 収入の増加(単位:千円)

サ区分	収入	前年	差異	前年比	稼働率	前年	前年比
特養	238,886	225,851	13,034	105.77%	98.25%	96.81%	101.5%
SS	34,929	32,119	2,810	108.75%	78.73%	66.62%	118.2%
DS	28,514	29,408	▲893	96.96%	78.73%	83.46%	94.3%
居宅	5,395	4,809	586	112.19%	433件	383件	113.1%
合計	307,723	292,186	15,537	105.32%			

### 2. 人件費の増加

人件費計前年差異+13,939千円、前年比106.95%

増額の要因は、定昇により年間約1,700千円増、冬期賞与1,665千円増、処遇改善分2,500千円増、法定福利費1,317千円増。人員は、非常勤看護職を1月に1名採用、5月に介護職員1名瀬戸の里から異動増、育休復帰3名(短パ)もあり、人件費は増加。しかしながら介護職の新規採用は困難を極めており、自然退職者(定年等)の補充ができない。事業の安定化を図るには、とにかく人材の確保である。

### 3. 事業費増、事務費減

事業費前年比+1,435千円 給食費+551千円、水道光熱費+807千円

事務費 " ▲2,064千円 修繕費▲1,766千円、手数料▲596千円

差額	当期	28年度	27年度	26年度
資金収支差額	▲3,013千円	▲2,904千円	2,185千円	2,824千円
事業活動差額	58千円	▲2,084千円	4,080千円	2,654千円

※平成28年12月、瀬戸の里への一時金6,000千円の支出分は差額に含めておりません。

特養・SSの定員転換による損益メリットを出しながらも更に安定した稼働率を維持します。以上

平成29年度事業概況  
特別養護老人ホーム二ツ森

平成30年1月1日付、特養定員50名から55名、ショート定員10名から5名に変更し収支改善に取り組みました。1週間に1名入所していただきましたが、1月末よりインフルエンザが蔓延し、感染対策としてショート受入れの中止。2月19日受入れ再開し、稼働率をあげるよう努力しました。

平成25年～平成28年の死亡者年平均14名に対し、平成29年度は5名の死亡者で空床日数も少なかったのですが入院者がやや多くなりました。

各ユニットでご利用者様の人格を尊重した対応、各ボランティアによる催しやレクリエーション、調理、職員の歌と踊り、保育園、中学校との交流会で笑あり感激の涙ありと沢山の思いで作りができて喜んでいただきました。

健康管理面では残念ながらインフルエンザが流行してしまいました。

ショートステイ

平成30年1月1日づけ定員変更10名から5名となり、利用者様には大変ご不便ご迷惑をおかけすることになりました。

インフルエンザ蔓延による受入れ中止での損失は、定員5名に変更していたため大損失は免れたと思います。感染症予防対策強化をしていきます。

平成 29 年度 特養ニツ森 利用者行事報告

開催月	行事名	行事内容	参加者数
4月	花見外出	庚申堂、文化センターなどへ花見ドライブに行き、花見を楽しんで頂きました。	23
6月	ほう葉寿司づくり 5月予定が朴葉の成長が遅く6月に変更	利用者様も楽しく朴葉寿司づくりに参加され、美味しく頂きました。	20
6月	小板マジックショー 暑中見舞制作	マジックショーと腹話術。 やまびこボランティアにお手伝いいただき 絵手紙を作成し家族へ送りました。	22 21
7月	流しソーメン	外でテントを張り、夏を感じながら、ソーメンを食べて頂きました。	45
8月	夏祭り	ご家族様と一緒に、屋外での食事と、花火見物を楽しんで頂きました。	50
9月	果物狩 敬老会	好きな果物を選んで食べていただきました。 福岡総合事務所長より米寿者へ祝品の贈呈。 喜寿、白寿のお祝、職員による踊りと歌。	45 44
10月	福岡中学校合唱交流会 お寿司の日	福岡中学校 1 年生 66 名の合唱後それぞれ話をする、握手をする等で交流、最期に全員で「ふるさと」を合唱しました。 握り寿司を美味しく食べていただく。	45
11月	福岡保育園との交流会	園児 27 名による歌と踊りの披露。 2 階・3 階それぞれ 15 名に分かれて交流	44
11月	紅葉ドライブ	紅葉を見る事で今の季節を感じていただく。 夕森公園・恵那峡・付知峡	18
11月	やまびこボランティアの協力により絵手紙で年賀状作成	利用者から家族へ年賀状を出します。 家族が利用者を思ういい機会です。 48 家族へ送りました。	15
12月	クリスマス会	利用者ハト・ベルによるクリスマスの歌演奏、職員の踊り、	50
1月	お汁粉作り	利用者にお手伝いしていただき作った汁粉を利用者に食べていただいた。	
2月		インフルエンザにより行事中止。	
3月	ひな祭り	玄関ホールにひな壇を設置、ひな壇と一緒に写真撮影する。	

入居状況

(実人数)

		男	女	合計
入居者数		8	47	55
年間	入所	2	8	10
	退所	0	5	5

入所・退所の合計数の不一致は平成30年1月1日より定員5人増床によるもの。

特別養護老人ホーム 二ツ森

	男	女
最高年齢	91	99
最小年齢	66	66
平均年齢	77.77	89.19
	87.32	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所		2		1		1					4	1	1	10
内訳	在宅			1		1					4			6
	病院													
	老健他	2										1	1	4
退所者		2		1		1					1			5
内訳	死亡	2		1		1					1			5
	入院													
	家庭復帰													
	その他													

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	365	946	3,630	7,246	5,642	17,829
今年度	244	731	3,834	8,914	4,778	18,501

平均要介護度 4.00

定員	18,700	稼働率	98.94%
----	--------	-----	--------

認知症日常生活自立度

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
0	2	0	6	23	2	21	1

食事形態

主食				副食				その他	入所者数
常食	軟飯	粥	ミキサー	常食	きざみ	極きざみ	ミキサー	経管	
15	17	16	6	20	10	17	7	1	55

※主食のその他は軟飯提供

※副食・常食に『一口大』含む

特別養護老人ホーム二ツ森

事故報告状況

特別養護老人ホーム ニツ森

転倒・骨折	誤薬	誤食	行方不明	裂傷	誤嚥	合計	保険適用 件数
4	0	0	0	0	0	4	4

※ 「転倒・すり落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る。

苦情相談件数

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	0	0

身体拘束状況

4本柵対応	ミトン使用	つなぎ寝巻き着用	安全ベルト使用
4	0	0	2 (1名本人希望)

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活 相談員	介護支援 専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練 指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤 (A)	1		2	1	25	3	1	1	2		1	37
非常勤 (B)		2			8	3					4	17
非常勤の 常勤換算 (C)		0.1			4.5	0.7					1.7	7
(A) + (C)	1	0.1	2	1	29.5	3.7	1	1	2	0	2.7	44

機能訓練指導員は看護職員兼務のため合計数には含めず。

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	1 人	正看護師	1 人
介護福祉士	30 人	准看護師	5 人
介護支援専門員	4 人		

短期入所 (ショートステイ) 事業年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													
支援2													
介護1	2	7	3	9	14	2	7	16	22	7	0	2	91
介護2	26	26	43	26	23	27	48	25	21	7	2	5	279
介護3	40	48	29	64	87	88	66	73	66	24	15	38	638
介護4	64	87	78	92	93	81	57	60	70	42	11	50	785
介護5	39	34	34	37	26	29	34	19	30	13	9	19	323
合計	171	202	187	228	243	227	212	193	209	93	37	114	2,116
昨年度利用状況	251	241	241	249	226	204	241	215	204	164	169	149	2,554
	利用定員		3,200		稼働率		66.12%						



## 平成 29 年度事業報告 二ツ森居宅介護支援センター

平成 29 年度は専任者一名、兼務者一名での体制で、居宅介護支援事業を適正に行い、蛭川地区、付知地区、苗木地区のお客様や中津川包括支援センターからの委託により介護予防サービスの受け入れも引き続き行いました。

昨年度同様に、ご利用者様・ご家族のニーズに添える様に、行政、医療、各サービス提供事業所、地域包括支援センターと連携を図り対応しました。

今年度は、福岡地区以外のお客様の問い合わせも多くありましたが、福岡地区のお客様の問い合わせが少ないのが現状です。

平成 30 年度も引き続き、親切・丁寧を心掛け、‘二ツ森居宅介護支援センター’をより多くのお客様に知って頂き、選んで頂ける様に、お客様一人一人のニーズに添える様に心掛けていきます。

お客様が在宅生活が継続出来る様に、各事業所、医療、行政、地域包括支援センターとも連携を図ります。

登録者 41 名（ご利用者様 33 名 平成 30 年 3 月 31 日現在）

新規 8 名 中止 11 名

（他界 4 名、居宅変更 1 名、老健長期入所 2 名 特養入所 4 名）

平成29年度 要介護度別国保請求内訳

対象月		要介護度別内訳							国保請求	実件数
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	件数	0	4	13	5	4	3	4	33	35
	金額	0	17,200	155,740	59,900	62,240	46,680	65,240	407,000	
5月	件数	1	4	13	6	4	6	4	38	36
	金額	7,300	17,200	155,740	73,880	62,240	101,360	64,240	481,960	
6月	件数	1	5	14	6	5	6	3	40	38
	金額	4,300	24,500	173,720	76,880	80,800	95,360	46,680	502,240	
7月	件数	1	5	14	6	5	4	3	38	38
	金額	4,300	21,500	167,720	71,880	77,800	62,240	46,680	452,120	
8月	件数	1	4	15	6	5	4	3	38	38
	金額	4,300	17,200	184,700	71,880	77,800	62,240	46,680	464,800	
9月	件数	1	3	15	6	5	4	3	37	37
	金額	4,300	12,900	184,700	71,880	79,800	62,240	46,680	462,500	
10月	件数	1	3	14	7	4	4	3	36	36
	金額	4,300	12,900	167,720	86,860	62,240	62,240	46,680	442,940	
11月	件数	0	3	14	7	4	4	3	35	35
	金額	0	12,900	170,720	83,860	62,240	65,240	46,680	441,640	
12月	件数	0	3	12	7	4	4	3	33	35
	金額	0	12,900	143,760	83,860	68,240	62,240	46,680	417,680	
1月	件数	0	3	12	7	5	6	3	36	35
	金額		12,900	143,760	83,860	82,800	96,360	46,680	466,360	
2月	件数		4	11	6	3	4	5	33	34
	金額		20,200	131,780	71,880	46,680	62,240	82,800	415,580	
3月	件数		4	13	6	5	6	3	37	35
	金額		17,200	164,740	71,880	77,800	96,360	46,680	474,660	
合計	件数	6	45	160	75	53	55	40	434	
	金額	28,800	199,500	1,944,800	908,500	840,680	874,800	632,400	5,429,480	

## 平成 29 年度事業報告 二ツ森デイサービスセンター

平成 29 年度の二ツ森デイサービスセンターは、前年度同様著しい稼働率の低下が見られました。新規獲得のため、毎月二ツ森の空き状況や、行事を各居宅へ配布しました。その効果で数名利用に繋がりました。しかし、目標とする稼働率には届きませんでした。下半期に利用中止となる利用者様が続き稼働率の低下の原因となりました。

地域運営推進会議では、地域に向けたデイサービスの内覧会の様な企画はどうかという貴重なご意見を頂きました。検討した所、時期が感染症流行の時期であり、開催する事が困難な状況でした。

サービス内容としては、外出企画を喫茶外出や買い物外出だけでなく、ランチ外出を企画しました。昼食を施設ではなく外で皆さんと頂き、お店側にもご協力を得て無事成功しました。利用者様にはとても好評でした。レクリエーションでは、前年度同様、下肢筋力の維持・向上を意識した体操を積極的に取り組みました。利用者様には「体操すると足が楽だわ」と毎回言って下さる利用者様も見えます。引き続き体操を取り組みたいと思います。

平成29年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500701			定員(A)		10名		予防有
事業所名	二ツ森デイサービスセンター			3月利用実人員		31人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年末年始を除く)		
報酬単価 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～9h単価	16,470	33,770	7,350	8,680	10,060	11,440	12,810
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算(I)イ	720	1440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	介護職員処遇改善加算(I)	688	141	500	579	660	742	822
	※1 昼食・間食	690×利用回数	690×利用回数	690	690	690	690	690
利用料日額合計	17,878	35,351	9,670	11,079	12,540	14,002	15,452	

※1.要支援の昼食・間食は690円に利用回数を加味した金額を加えてありません

	平成29年度実績	平成28年度実績	前年比較
稼働日数	309日	309日	0
平均年齢	86.78歳	86.66歳	0.12
男女別人員	男448人 女1985人	男630人 女1959人	—
平均介護度	2.9	2.7	0.2
要支援 I	人	人	0
要支援 II	人	34人	-34
要支援合計	人	34人	-34
要介護 I	554人	637人	-83
要介護 II	603人	784人	-181
要介護 III	649人	505人	144
要介護 IV	414人	442人	-28
要介護 V	213人	187人	26
要介護合計	2,433人	2,555人	-122
年間総合計	2,433人	2,589人	-156
年間総定員	3,090人	3,090人	0
稼働率	78.74%	83.79%	
計画数	3,010人	3,010人	0
達成率	80.83%	86.01%	

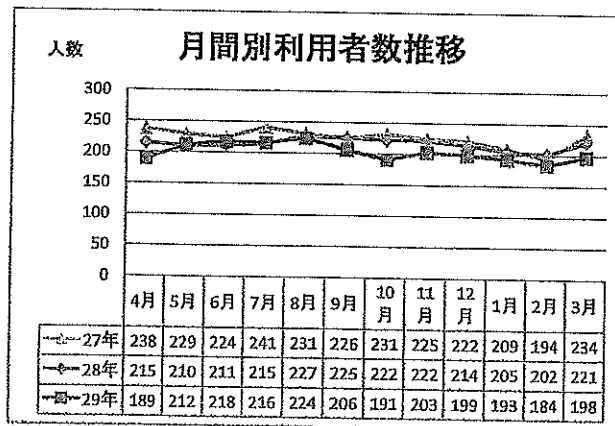
苦情	
29年度	28年度
0	0

第三者委員まで報告を要した件数

事故	
29年度	28年度
0	0

保険を適用件数

職員等の状況		
兼務の場合は主職種		
	常勤	非常勤
管理者	1	
相談員	1	
介護士	2	3
介護師(機能別)		2
支援		



# 平成29年度デイサービス年間行事報告

4月	花見ドライブ	お花見で苗木・長根・付知にお出かける。	4日間	29名
5月	喫茶外出	コメダ珈琲に喫茶外出	3日間	18名
	ほう葉もち作り	利用者様・職員で作り皆さんで頂く。	3日間	20名
6月	ほう葉寿司作り	利用者様・職員で作り皆さんで頂く。	3日間	21名
	夏の飾り作り	七夕の飾りや夏用のつるしびなの飾りを作る。	9日間	55名
7月	絵手紙作り	暑中見舞いを皆さんと書く。	5日間	47名
	ランチ外出	バンドカフェにランチ外出し昼食を皆さんと頂く。	2日間	13名
8月	おやつ作り	お好み焼きを皆さんと作り、召し上がる。	3日間	21名
9月	敬老会	マジックショーを楽しんで頂き、紅白まんじゅうや赤飯でお祝いする。	6日間	42名
10月	買い物外出	スマイル(駒場店)へ買い物に出掛ける	2日間	13名
	喫茶外出	げんさいや(坂本)に喫茶外出に出掛ける	2日間	11名
11月	紅葉ドライブ	夕森公園へ紅葉ドライブ	6日間	41名
12月	クリスマス会・忘年会	お菓子つかみ取りや1年間の行事をスライドショーにして皆さんと鑑賞する。	5日間	27名
1月	正月遊び	福笑いや双六をして新年のお抹茶を頂く。	9日間	66名
	お菓子作り	たこ焼きとお汁粉を皆さんで作る。	6日間	42名
2月	節分行事	節分のゲームや鬼のお面を皆さんで作成する。	7日間	57名
	お雛様の飾り作り	3月のお雛様に向けて飾りを作り、飾らせて頂く。	8日間	56名
3月	ちらし寿司作り	ひな祭り行事で皆さんとちらし寿司を作り、皆さんと頂く。	3日間	18名

・毎月利用者様のお誕生日会

・不定期でボランティア

ニツ森デイサービスセンター

